

EL «ARGENTIN DJIJO»
PERIODICO SEMANAL EN JAPONES

Redaccion: USPALLATA 981 U.T. 23 B.Orden 7051

Año VIII

Nº 365

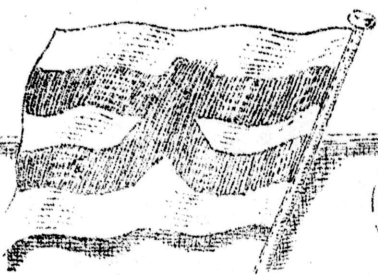
25 de Mayo
1810 ~ 1931

亞爾然丁時報

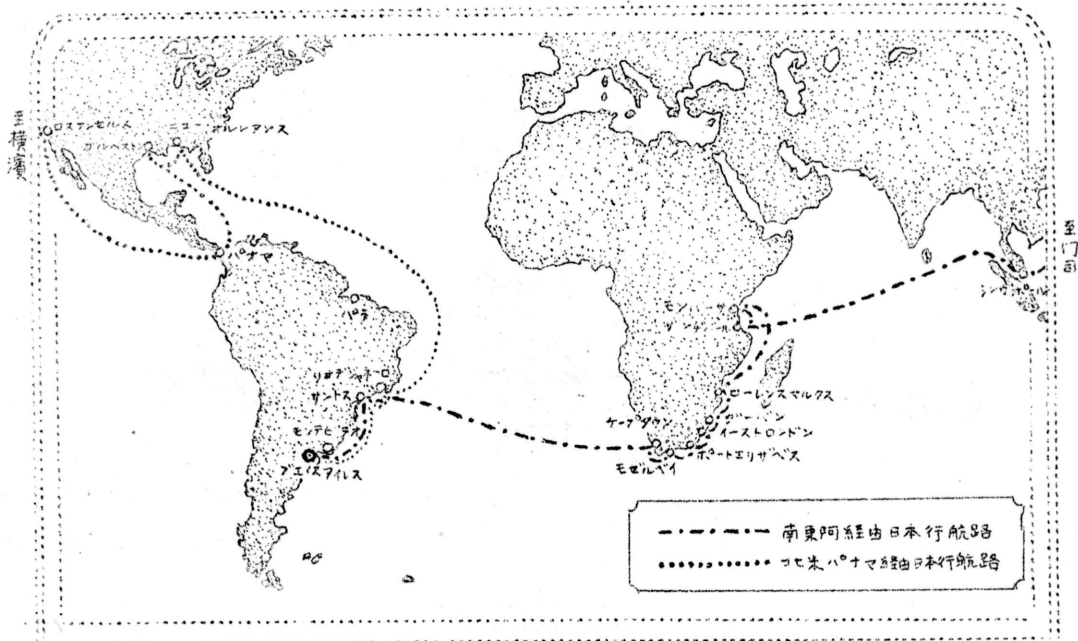
亞國獨立紀念



NUMERO EXTRAORDINARIO



O.S.K. LINE



祝我國獨立祭

定期確實、穩快行届いたサービス、萬端は江湖の嘆賞を博して居ります。一等船客優遇は大阪商船の傳統的精神に至極穩快を旨として御親切に御音詰申上げます。

南東阿経由日本行 (毎月一回定期出帆)

奇港地 フェリスアイレス發、サントス、リオデジャネイロ、ケープタウン、モセルベイ、ポートエリザベス、ブリスベン

パナマ、ロンドン、グアバ、ロレンソマルクス、モンバザ、サンバル、新嘉坡、門司、神戸、大阪、名古屋、横濱、横濱行。

使用船 (二万吨型) アリゾナ丸、アラバマ丸、アフリカ丸、マリア丸、ハワイ丸。

北米バブ経由日本行 (毎月一回定期出帆)

奇港地 フェリスアイレス發、サンタス、リオデジャネイロ、エクアドル、ニールレアン、カルベス、パナマ、ロスアンゼルス、横濱、神戸行。

使用船 (二万吨型) フェリスアイレス丸、リオデジャネイロ丸、(七千五百噸型) サントス丸、モンテビデオ丸、ラプラタ丸。

大阪商船株式会社

OSAKA SHOSEN KAISHA.

25 de Mayo 431 - B. Aires - U.T.3/Retiro 2825

祝 独 立 紀 念 祭
S. YAMADA Y CIA

IMPORTADORES

山

MORENO
2037

市
内
モ
レ
ノ
街
二
〇
三
七

田
山
會

U.T.
47 CUYO 4334
99 " " 4405

BUENOS

AIRES

祝 亞 國 獨 立 祭



CAFÉ "TOKIO"
DE
Haihara Bros.

貝
原
兄
弟

東
京

珈
琲
店

FABRICA Y
ESCRITORIO
HUMBERTO 1°
2013
U.T. 2243 B.ORDEN

SUCURSAL "A"
LAVALLIE 1388
U.T. MAYO 6374
SUCURSAL "B"
BREMOTRE 349
U.T. AVENIDA 0155

EL "TOKIO"

GRAN TINTORERIA Y TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO

DE ADOLFO K. OTSUBO

CASA MATRIZ
RIVADAVIA 5202
U.T. 60 CABALLITO 4738

大
坪
喜
義

五
月
廿
五
日

祝
独
立
紀
念
祭

SUCURSAL
ACOYTE 60
U.T. 60 CABALLITO 4719

BUENOS

AIRES

祭
念
紀



立
獨
祝

FOTOGRAFIA

KASAY H^{NIOS}



葛
西
春
峰

寫
真
館



CALLAO 1451 ~ BSA ~ U.T. 4563 JUNCAL

祭立独



祝亞国

MATSUURA TRADING CO. LTD

IMPORTADORES

ARTICULOS GENERALES DEL JAPON

LAVALLE 341-ESCRIT. 107-U.T.31Retiro0985

會商易貿浦松

FUJISAKI Y CIA

IMPORTADORES Y EXPORTADORES

SARMIENTO 459, P. 3º ESCRIT. 28 ~ 29

U.T. 31 RETIRO 4459

29 SHIOCHO ICHICHOME RIO DE JANEIRO
YOTSUYA - TOKIO SAN PABLO
46 SUMIYOSHICHO SANHOME PERNAMBUCO
YOKOHAMA - JAPON - BRASIL -

祝
独
立
紀
念
祭
藤
崎
商
會

祝
獨
立
紀
念
祭

橫濱加藤合名會社
代理店

原
商
店

ベルグラ
U.U. マー
十リバ
ア六二
街一四七〇
ヨニ西三八

KATSUDA Y Cia

IMPORTADORES

會 高 田 勝

MEXICO 1474 ~ U.T. 38 MAYO 2313

祝
独
立
紀
念
祭

NIPPON TRADING CO.

增
山
豊
吉

日
本
商
事

VICTORIA 727

U.T. 38 MAYO 1642

B. AIREs

五
月
廿
五
日

祝
独
立
祭

Bazar Japonés

DE

IRIZUKI y USUI

RIOJA 1854

BUENOS AIRES

白 入
井 月
知 武
則

祝
独
立
紀
念
祭

25 DE MAYO

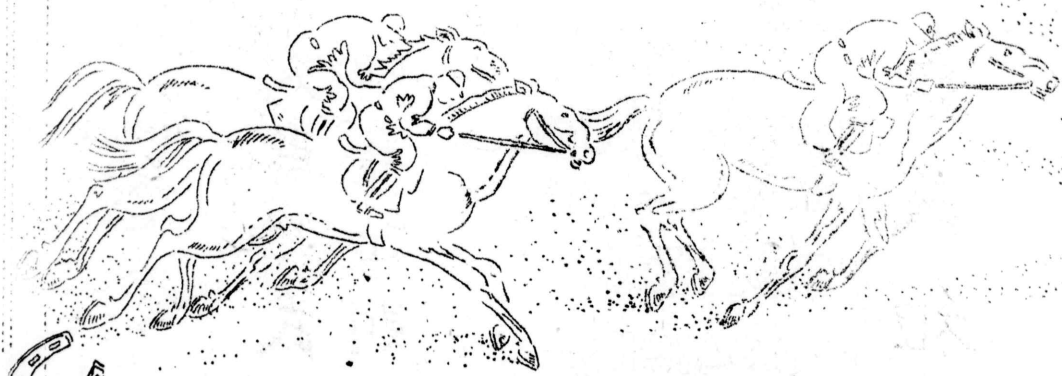
1810

1931

TINTORERIA
BOTAFOGO
DE
K. FUNAY

CASA MATRIZ : ENTRE RIOS 215
(C.U.T. 7740 MAYO)

SUCURSAL : SARMIENTO esq. RIO BAMBA
(C.U.T. 0984 CUYO)



TINTORERIA "SATUMA"

(CASA MATRIZ)

DE M. T. TURU & H^{no}

CALLAO 1325
U.T. 41, PLAZA 2097

祝
亞
國
獨
立
紀
念
祭

全
水
流
庄
武
吉
一

TINTORERIA

"EL MACON"

(SUCURSAL)

SANTA FE 2758

U.T. 41 PLAZA 3934

BUENOS AIRES

CAFE NIPONES

HOTEL, BAR DE MINWA HIGA Y BILLARES

CASA MATRIZ: CORRIENTES E ITUZAINGO, SALTA F.C.C.N.A.

SUCURSAL: J. B. ALBERDI 90, 99, 99

祝
獨
立
祭

五
月
廿
五
日

サ
ル
タ
市

カ
フ
エ
・
ニ
ッ
ポ
ネ
ス

比
嘉
民
和

CAFE TOKIO

M.K. MIHURA & Cia

CASA MATRIZ MERCEDES F.C.O.
(U.T. 191)

SUCURSAL N.º1 JUNIN F.C.P.
(U.T. 198)

SUCURSAL N.º2 LUJAN F.C.O.
(U.T. 100)

SUCURSAL N.º3 PERGAMINO F.C.C.A.
(U.T. 150)

祝 独 立 紀 念

カフエ東京

本店

メルセーデス市
(電話 一九〇番)

支店

フニン市
(電話 一九八番)

支店

ペルガミン市
(電話 一五〇番)

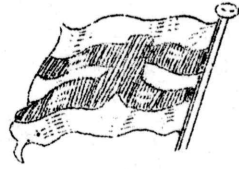
支店

ルハン市
(電話 一〇〇番)

三浦合資商會

金子 三浦 水野 穴野 菅野
 良吉 興義 武義 庄五 忠助 春雄

祝独立記念祭



船舶御用商

大阪商船
會社指定
三等乗船切符仲次所

森川塩澤商店

Paseo Colon 470
U.T. Avenida 4171

大阪商船會社船客御送迎に就ては懇切迅速に御便宜御取計ひ申すべく候間、御遠慮なく右記へ御用命願上度候
日本行き三等乗客乗船切符仲次人に指定せられ候に就ては乗船万端精々御便宜御取計申上候間、精々御利用相蒙度候

TINTORERIA BELGRANO DE DOY HIJOS

祝独立記念祭

五月廿五日

土井兄弟

RIVADAVIA 11336 = U.T. 64 Liniers 619

JADAO HATTORI

IMPORTADOR

ESPECIALIDAD EN ARTICULOS DE
CEPILLERIA



25 DE MAYO
1810 1931



祝
独
立
祭

五月廿五日

服
部
定
雄

市内リニエール街 六四九
電話 ローリア・三二八

LINERS 649-B: A: -U.T.45 LORIA 3218

建國紀念祭に際して

大亞爾然丁國が本五月廿五日、光榮に輝く才百廿一國の獨立紀念祭を祝するに當り、吾等在留同胞は、满腔の熱誠を以て祝賀の意を表すると共に、その國運の隆々隆々に向はんとすを禱するものである。

一十八百拾年五月廿五日、昔時不の時の統治國西班牙の圧政と東縛に憤然した建國の志士等が、自國獨立の雄叫びを挙げ、鎖を断つて、西國の覇を脱し、遂に共和國の基礎を確立して、より僅か百二十年、端と終たるに過ぎない。

目次

莫大なる資本と投下し、或は労働力を提供し、或は學術文藝を移殖し、或は國の進歩に貢献すると共に、自國勢力の扶植に力を注ぎ来たのである。然るに世界の不景氣の大嵐は、此の國をも襲ひ来た。當國の財政經濟状態も順調に在りとは云へ得ないし、昨年九月の革命以後、政情も亦稍々安定を欠いてゐる。然しこれは恰も曇りたる太陽に、かきける一片の雲影の如き單なる一時の現象に過ぎないもので、國の前途たるや、実に光明に輝くものがあるのである。故に英米佛等列強は、軍氣回復後に於ける吾國の繁榮を予想し、不況の現時に於て既に將來の進展に關し、劃策を凝らすのである。

對日輸出額が増加し、遂に五百萬に及んだ事である。斯の如く日亞の通商貿易が、除々に相対的に進みつつある事は、兩國の交通運輸が、日に月に密接の度を加へつゝある反映と見る可きである。

所謂、文化的接觸に依りて日本の眞價を知らしめるも一法である。又一方經濟的發展に於ては、唯に農牧工業方面に限らず、水産方面にも着眼すべきであつて、ラフラア河より南マゼラン海峡に至る亞國の沿海は、現在世界に唯一の残された大漁業場である事を思ふ時、海國の日本は、宜しく漁業方面にも進出を試みるべきである。

建國紀念祭に際して	一頁
亞國獨立紀念祭に當り所感を述ぶ	二頁
海運雜誌	四頁
目下の急務	六頁
譯詩	七頁
卷頭夢言	八頁
亞國に於ける「アメリカニスマ」の影響	十頁
伯國バラグアイを経て亞國に入る	十一頁
文明を捨てた男(コト)	十三頁
アレンジシゴの座談會	十四頁
詩歌	十六頁
流れ星の夜	十八頁
悪夢を泳ぐ	十九頁
ボカのフロキス	廿一頁
武市のエロ	廿三頁
危険の尊貴性を論ず	廿五頁
雑報	廿七頁

亞國獨立紀念祭に當り

所感と述べて告別の辞に及ぶ

帝國領事 高岡禎一郎

亞國獨立紀念祭に當り亞爾然
丁時報紙上に所感を述べ得ると
光榮とする。

亞國は建國以來未だ久しからず
と虽光明に輝ける前途を有する
青年國である。活氣溢るる進
歩向上せんとし、覇を南米の天地に
唱ふる一大雄國である。廣大無辺
の國土を擁し、殆んど無限に近い人
手の到らざる天然資源を埋蔵
し、而も人口の割合未だ甚だ稀薄
にして有らざる方面に於て活躍伸
展の余地綽々として國運將に隆々
たる國柄である。亞國市民は建
國以來の自由獨立の精神に充溢し
常に進取の氣象に富む國民である。
斯く地と人との得たる當國將來の
發展は活目して看るべきものある
を信ずる。

が活躍して居る。我輩は先年
紐育総領事館に於て六年間種々
勤勞して主として通商事務を担
當して居つた關係上、米國の所謂
對南米商略とも研究した経験も
あるが當時戰後莫大の資金と
所持するに至り之が処置に因り
抜いた米國が其海外投資先を
戰後の廢棄よりまだ脱せざる政
治及び政局の不安定を支那等
と避けて南米諸國に目を着け始
めて以來一躍「ワシントン街の活動」
なつたのである。當國は英國を
筆頭に米、佛、独、伊等の一大顧
客で所謂購買市場が大きい爲め
今後とも各國相競つて市場の開拓
に専念することであらう。此間
に在りて發展すべき本邦人商社
は重大なる責任を以て一層の
努力と覚悟を要するであらう。
幸に当地には商務官の設置あり
貿易協会設置せられて日亞通商
貿易の關係の調査並びに相互間
利益増進上便宜多しである。
實は現下不景氣の難局と首尾

よく切り抜けて近く好況時代の
出現を期待して已まふべし。我輩
は前述の如く日亞通商關係の益
益増加すべき好望性あるを信
するが故に將來とも微力ながら此方
面に盡力したい心願を有する
る。

ア市々内に「カフェ」業洗濯業等
面に於ける邦人の目覚ましき活
動は誠に慶ばしい現象で、吾人
の誇りである。「カフェ」業も昨今
一般不景氣の影響を受け居る由
最初邦人の「カフェ」店は所謂一種
の好奇心からの顧客も多敷かつ
たが只今は花程でもなしとの幸で
ある。然らば千遍一律の経営法と
止め何の新奇の方法を講じて例
へば店頭を日本式に装飾して人
目を惹く等他店と違つた殊更
目立つた装飾を案じ出して面白
を一新して見たらならんものであら
うか。
又洗濯業は邦人向の顧客が尋
大抵限定せられてある關係上邦
人同志間に無爲の競争を惹き起
し共倒れすることありと聞く。
邦人洗濯店が余り近接して開業
し相互に値段引下げの競争とな
り結局は無關係の他店に澳夫の
利を得させることは共和共存の

祝亞國獨立祭

山崎次郎

祝亞國獨立祭

宮腰千葉太

祝亞國獨立祭

高岡禎一郎

商略上甚だ不得策である。我輩は邦人の発展を祈願すること切なる為の斯業の経営法に就て反省改善すべき点なきやと憂うる者である。

其他「アルマセン」や蔬菜果物店又は花弁店等発展すべき余地が多々あり。

次に農牧業であるが我輩は羅府領事館に在勤した経験から此方面には特別の興味を有する。當園の如く廣大にして豊饒なる土地を有し天然條件の具はれる園柄に於ては農牧業の發達繁榮すべきこと明かである。尤も今年如く蔬菜花弁園藝等は意外なる生産過剰に遭遇し一時苦境入りしと聞く。併し本市の如く大販賣市場を有する以上斯くの如き不況は一時的事象と見てからず、唯希望に堪えざるは栽培法のみならず、種苗の選擇需要の關係栽培面積の増減市場の見越し等に就て研究考慮せられては如何であらう。

農牧方面は市内外に限らず「メン」ドサ「チマコ」シンスネス等地方的に分散して殆んど無制限に發展の余地あると最も特徴とする。尙當領事館附の勸業部囑託は特に此方面の経験者であるから何時にても御相談せられること、存する。

以上の如く現に生を言ける亞國に於ける吾人活動の機会は多い吾人は亞國獨立祭に當り亞國に負ふ恩惠に對し深甚なる感謝の意を表し、其の進歩隆昌を祈願し其文化の發展に貢献せんことを努めたい。

終りに臨み貴重なる紙面を拜借して一言致したい。我輩着任以來拾有一ヶ月にして当地を去るは実に涙ぐましい程慚愧に堪えなむ。病氣の爲めとは申せ甚だ不本意下らの帰園である。我輩不肖なりと雖も一度の領事職務を拜命したる以上幾多の希望と計画とを懐いて赴任したのである。其の希望計画の一端とも実現せずして中途にして去るとは甚だ不面目に堪えざるのみならず在留同胞諸賢に對して相済まざる次第で衷心からお詫を致したい。又しきに更り従うに病床裡に呻吟し同胞諸賢の爲めになすこと甚だ勘ッリしは想へば「ゴソト」身懐ののする程残念である。憶ひ起す。昨年十一月十日「ルン」寺院日章旗献納に當り早朝三十八度一分の発熱あり遺囑下ら遂に臨席の約束を果す能はず夕刻に至り四十度二分の高熱となり越えて十四日より全く病床を離れ得ず其間の痛苦實に言語に絶するものあり断腸の思をなすこと再三にして止まらず我輩一生の若しき経験として終生忘れ得ぬことであらう。僅くは同胞諸賢不肖我輩の爲すこと勘ッリしを諒せられ幸に見捨てらるること勿れ。我輩罹病に當り各方面よりの御同情に對しては深厚なる謝意を表し將來世界何処の果てにあるとも常に深く肝に銘じて忘るることなく必ずや報恩の一歩を心掛くることを誓ふ。異郷病苦の身程人情を痛感するものはなむ。若しき経験は得ても、甚だ好印象を抱いて亞國を去る。

さらば同胞諸賢。幸に健在なれ。何れ他日再会の機会を期待しつ。最も最痛なる気分裡に惜しきお別れをする。

祝亞國獨立祭

雪下勝美

祝亞國獨立祭

下野一霍

祝亞國獨立祭

芝崎彌額爾

祝 獨 立 紀 念 祭

大垣俊雄	淺野政吉	仲間平助	廣瀬寛治	上桶俊一	本田儀平治
黒川廣	椋野國勝	北川稔	川北平太郎	日高喜作	河野慶治
高橋坂衛	石川芳範	新日本園 河野通公	内藤鶴雄	萩野定男	羽生兄弟
在重 日本人會	日本小學校	在重 農業研究會	日本庭球俱樂部	在重 蔬菜園藝 同業組合	在重 日本人園藝會

祝 独 立 紀 念 祭

伊藤清藏	本間鐵雄	門田勇吉	崎間麗德	山本喜平	太田千代繁 小林義彦
山本栄治郎	原田靜雄	杉原隆治	崎間裕司	矢尾健三	上田平作
桐原茂雄	福田勝市	脇水鉄弥	本田次郎	岡田領治	石原生
紅白俱樂部	在亞日本人 自動車運轉手協會	日本	少年蹴球團	在ミシオネス 北進會	在チヤコ 日本人棉作 協會組合

祝 獨 芝 紀 念 祭

松井完爾	齊藤彦藏	佐藤貞次	横塚三四	岩崎次郎	能勢忠平
請村常次郎	後藤貞彦	原田四郎	西岡一秀	杉本清次郎	秋葉新一
佐藤貞則	星野留造	門村真一	岩住玄伍	西久保喜一 <small>ロサリス市</small>	東利作
桐原茂 <small>ベレヴィージェ</small>	ペドロ小園	渡辺安治	吉田富	梶本儀平	坂本新吾

寫真師

祝
獨立祭

相部善次郎

祝
獨立祭

吉崎芳太郎

祝
獨立祭

長嶺直哉

祝
獨立祭

城戸市兵衛

祝
獨立祭

宮澤次郎

祝
獨立祭

福岡庄太郎

在
アスンシオン

祝

獨立紀念祭

日本野球園

海運雑話

大坂商船株式會社 家坂喜
ブエスアイレス 支店長

亞國獨立紀念号にふさはしい
 争でも書きたいが在更一年半
 では亞爾然丁の話が東西商
 北もよく判らぬ始末で、亞國獨立
 祭とは亞爾然丁が西班牙本國に
 向つて獨立宣言を發した思ひ出考
 日である。本年五月廿五日は百廿二回
 目の祝日である。位の事より知ら
 ぬ様態で痛み入つてゐる有様で
 あるが何が早く書けといふ再度の
 催促であつたと三十分許りで書
 き上げる事となり、又々海運話で
 御免蒙る。

海運は國際的主要産業である事
 は何人も否定しまいし且つ各國は
 ロンドン海運條約成立の結果とし
 て剩餘の国力を同國商船隊の改
 善利用に傾注してゐる海商時代が
 到来せんとしつゝある時であるが
 ら海運談も萬更では無い事と信
 ずる。

昨年の獨立紀念号には各國商船
 の勢力を畧記して日本商船は其
 數に於て世界第三位だつた優秀船

此様な状態が今年に持ち越され
 たけれども新年果敢といふ奴に一
 變の望みもかけて置いた如く依然
 として各國關稅障壁は高くな
 るし財界不況旧態を脱せぬ爲
 の「海運界」活況なるべけんや
 といふ不景氣千萬の結果に沈哀
 しがつて置いたのである。然し
 海運は最も敏感だから、世界の一
 角で一寸景氣が直ると勿ち好影
 響がある。最近の实例として
 リバポルトの穀類輸出が案外活
 況を呈したから勿ち英歐附近に
 つた船舶に影響して運賃も引締
 まつて時ふらぬ春色を見せるとし
 祖國海運界でも濠洲方面小麥輸
 送の需要で一陽未復非常活況
 振りで運賃の如きも倍額位逆暴騰
 したと云ふ吉報がある。之等は中
 同景氣が春景氣が逆騰し難い
 次第であるが、要するに世界海運は
 不況の域は脱しないが、底には着
 いて上つてゐると見るのが穩當であ
 らう。

却説最近の各國海運状況と同額
 するに英國ロイヤルメール会社及
 び其系統は己に興味を失つた程
 多事多難に陥つて前途混濁であ
 る。

独乙は濠南米線漢米線、北極口
 イド社が十年計畫のフルに快調
 とやり、独乙は南米間の世取不
 競争を回離し内容充實を計り
 獨乙海運合理化の才一歩を踏み
 出している。運航の巧妙を以て
 鳴る諾感も多數の船を出し
 て容易ならぬ難局にあるが露
 國筋の小麥輸送需要により回
 生する苦であるが諾感海運の
 苦境だけを見ても世界海運の盛
 衰が窺はれるであらう。伊太利
 はハンソニーの海運國策で意氣
 甚だ揚り、他外國船と健闘し露
 國小麥の積取りに出動して伊太利
 海運の發達たるを見せせておる。
 佛國は政府補助金を増額して其
 海運を奨励し、丁林ではドイツ
 ル優秀船を建造して極東航路
 に進出し、ニコスラビア海運、和蘭
 等も相當に活動して居る様子で
 ある。

労働政府は造船五年計畫(一九二八
 年—一九三二年)に次ぐ更にモ
 ター船建造五年計畫に移つたけれ
 ども其成績は芳しからぬが、何をす
 るが判つたもので無い感度である。
 北米合衆國は例の莫大の補助金
 で一航海損失如何と計算して、

祝亞國獨立祭

家坂喜

祝亞國獨立祭

大山綱國

祝亞國獨立祭

入江儀一郎

目下の急務

陸軍砲兵中佐 下野一霍

ルースベルト大統領は十九世紀世界の発展地を米國とせば廿世紀の発展地は南米なりと断言し、南米政策に指針を與へた。果して南米列強の南米經濟發展は大いに見るべきものあり、今や其競争は自熱状態であることは御互の實見しある所である。

就中米は互に鷄と削り、弱肉有たらんとし、他國の進退を許さぬ所があるが、独傳、伊等亦犯す可からざる實力を以て断之ず、勢力の進展を企圖して、日本は此間に於て孤軍奮闘相當の成果を挙げたるが、前者に比すれば、實に微々たるもので、英米を東西の大國とすれば、独傳等は、関分小結で、日本は幕内殿所であらう、新進の幕内、前途洋々雲龍の望ある如く、南米に於ける日本の前途亦大いに希望に満ちるものがある。現に在亞有識者の努力により、近年日亞貿易に新生命を吹き、又昨年秋陸軍大演習見学の爲、渡日せし、ハフ、レ、大佐、先般旅行談中、大統領以下閣僚及亞國有識者の面前に於て、日亞貿易の餘地あるを指摘せし、如きは此亞國に於ける消息を物語るものであるが、其他の諸國に於ても同様である。然し之は誠に悦しき現象である。然し現下の時勢に鑑みて更に一步を進

むる事、肝要と思ふ。それは將來の爲に確たる基礎の上に發展すべき事である。單なる貿易は盛衰浮沈繁く、一度不況に遭ひ、或は何かに墜墮すれば容易に縮少撤廢となり、燦爛たりし繁榮も一場の夢と過ぐるは十年前此亞國に於て同胞の實驗した所である。即今日の經濟競争は固定的大資本の上で、且つは各種の難關を切り抜ける最後の勝利を得る事、出未ぬ、歐洲戰後米國の席捲的形政策が南米に於ける英國の勢力を如何とも爲し得ないのは巨億の資本が放せられてあるからである。仍て日本が列強に伍して抜く可からざる勢力を此地に維持せんが爲には、今日の商業備置乃至小資本、若しくは無資本植民の域を脱し、更に意義有り、基礎ある事業を興す可きである。それは南米諸國の事情並帝國の事情から自ら定まる所謂資本を伴ふ同種事業である。植民事業である。(当地フレンサ、先般此種の社説を掲げた) 其大規模のものは、或は政府、資本家の奮起を要すべし、であるが、在亞同胞も此主旨を以て進む可きものと思ふ。而して此發展は過度期の今日、最良の時期である。十年二十年と経過せば、列強勢力の分野は自定まり、我進入は益々困難となるは

かりである。尚今日を以て好機となす理由が今一つある。私の南米生活は僅に二年餘で、足跡の上の國も亞細、伯、馬、及世の五國に過ぎぬが、今日迄定論し、又見聞した所によると、南米諸國現代人程世界中、対日好感を有して居るものはない様である。それは皇統運轉たる皇室を中心として國民が一致團結し、極東の地平線より抬頭し、近々半世紀の間に、以て國体の精華、國民の優秀と、守内に宣揚したからである。如く南米諸國に斯くまで強き好印象を與へたものは、何として日露戰爭である。然らば、何故日露戰後、南米人に、それまで感動を與へたかと云ふに、南米諸國の獨立宣言は皆十九世紀の始であるが、内外の戰禍止み、國內安定し、真に、外内の體面を備へたのは十九世紀の末葉からである。

此種優待の雰囲気は、生ひ立ち、世紀を迎へた新興國民は、斬なる理想を懷き、世界の大勢を打穿つたのである。恰も其頃、種族とも目するべき日露の大戦が始まり、其戦報は限りなく彼等の血を沸かした。其結果は未だ十分に名も知られなかつた。小日本の大勝となり、兼て世界最強陸軍と誇りし露國の惨敗となつた。就中、海軍の攻勢、奉天會戰、日本海海戰、等、有史以來、稀に見し快戦であつたので、日本に對する彼等の尊敬、慕慕の念は一時に起つたのである。而して此觀念は、戰後帝國の成就した學術、技藝、産業、等、長足の進歩、發達によつて

然れども、輕拳は消極退嬰と何半壁が所が、ないやう、一日も離れ有識者並に留同胞各位の組織的にして、真面目なる研究を爲す事、目下の急務と思はれるのである。

(完)

祝亞國獨立祭

小長谷 龍

祝亞國獨立祭

田中長 造

La Patria.

Es la Republica Argentina, bella;
Ciene gran porvenir.
Vivid unidos, trabajad por ella.
¡Dulce es amarla siempre hasta morir!
Cruzad los mares, recorred el mundo;
La patria os seguirá
Con sus recuerdos, con su amor profundo.
Y misteriosa voz repetirá:
"Es la Republica Argentina, bella;
Ciene gran porvenir.
Vivid unidos; trabajad por ella.
¡Dulce es amarla siempre hasta morir!"

J. H. Figueira.

祖

國

ホセ・フイゲイラ作

美はしきアルゼンチン共和国
申す末の望みこそ偉大なる

もろ共に相結ばるる生きよ つとめよ
汝が祖國のため

快き哉 死する迄
つねに祖國を愛する

海をよこぎれ 世界を巡ぐれ

いとふつかしの追憶と
深きあぐれを携へて

祖國は汝の跡をたづねて行く

！かすかに 神秘の声はさやかむ

美はしきアルゼンチン共和国
申す末の望みこそ偉大なる

もろ共に相結ばるる生きよ つとめよ

汝が祖國のため

快き哉 死する迄

つねに祖國を愛する

巷観夢言

木猿子

天恵の悲哀

一望浩洋坦々として涯しなげ萬里の沃野を背景として立つ亜細亞は天恵豊かな幸の國であることは異論がないが、運々として進まぬ経済的地位を省る時、天恵果して奈辺迄國運の隆盛を助くるであらうが、いさゝか疑を抱くものである。

家畜を飼ひ、田野を耕し、穀を食し得る程度の自給自足を目標とするは、其の可能率十二分に與へられる安住の天地であるが、産業的覚醒と發達を阻害するものは寧ろ自給自足の天恵ではあからうが。

敢へて亞細亞は斯の安住に甘んじて居るものと論断は出来ないが、天恵の富源が國民生活を以て長夜の夢まじらぐならしむるは自然の理、亞細亞は國を幸ひ、歡樂を逞むるの批評も心ない批評家の口から滾らされる。

亞國民と雖も悉く醉生夢死徒らに生を備むるものでは無いが、近年の様に連續的の逆境に直面して反動的回復の氣力少く神經衰弱的に相互に強ひて醉生夢死を求めざる者がある。

笑も喜びも強ひて絞り出して来る付焼双満々たる覇氣と覺気の反映とはどうしても解釈の出来ぬ場合が多い。

過ぐるは尚及ばざるが如し。最近の亞細亞經濟界を通過して天恵に飽満した亞細亞は不況に直面して經濟的發奮の力を不幸にして失つてゐるかの感と深さする。世界的經濟戰に雄圖を抱いて自ら打つて出る勇氣などは夢想に過ぎぬかも知れぬが、最近の經濟的波動の襲來に処して防ぐに術なく抗するに策なく、徒らに悲觀して大勢の赴く如に委ねおはならぬ。

好例として一國經濟の中心勢力

であるトリゴ並にマインの輸出に斯れを如實に見る。

五月中旬に於て既にトリゴ百七十八余万トン、マイン二百三十一余万トンを輸出し、昨年同期に比較してトリゴ四割、マイン約倍額の輸出量を示して居るが、實際に代價として獲得する如きは暴落を啣つて居つた昨年と比較して更に一割三、四分の減少であると傳へらる。

世界的生産過剩、赤露のダンペンに災ひされる如き甚大であらうが、及面價格の崩落と自然のまに委せ見るべき対策の樹立無きと雄弁に物語るものであるまいが、大勢を熟知して対策の完成に憐憫の苦心積むより、天恵に頼み、現實を甘んじて可もなく不可もなく生活して行くのと利益とするのが、亞細亞の國民性と云ふ感と強さする。

「百敷の大宮人は暇あれや櫻野して今日も暮しつ」

國民的訓練

國民性の優劣、或いは國民的訓練の良否が、國家及民族の盛衰に關連する如き重要要素であることは、今更贅言を要せぬ。

練の良否が、國家及民族の盛衰に關連する如き重要要素であることは、今更贅言を要せぬ。

亞細亞の國家的徳性はラテン民族を多く祖先とするロマンテスチックの國民性結合であり、不生産的の素質を多分に有する感がある。建國三千年、其の間に於て自然的富源は開發し盡され余滴も止ぬぬ迄、其れが涸渇し切つた音等が祖國は國民生活の窮迫となつて現れてゐるが、斯の悲境の中に尚一道の光明と活氣の存することを自覺し、心強く感じるが、及して天恵の恩恵、斯くも豊富に亞細亞の經濟界は其の核心に悲哀の念を有する感がある。

斯の興味ある對照を見る時、貪乏敢へて憂ふるに足らず、天恵亦頼み難きを知る、要は富源の利用と國民的訓練ではあるまいが、各種の事情と總括的に觀て、亞細亞の不況は他國の深刻さには比較して甚だ平凡なものであるが、所謂世間並の不況であるが、最も悲しむべきは他力本頼以外に、自發的自力經濟策の樹立も經濟

祝獨立祭

坪田 静仁

祝獨立祭

吉橋 好太郎

祝獨立祭

宮崎 八郎

祝獨立祭

濱野 宣直

的整調の基礎と認むるべき内面的な國民の努力も見出し得ることである。

多少とも回復の曙光と做し得るものあらは他動的な力であり、國民の大部分は内面的整調に對し甚だ無關心であり従つて大勢の推移に委ねてまきながら環境に引摺られて行く感がある。

回復するべき日

昨年と比較して価格は低廉ながらも今年には農作物の輸出量が増加し活発であり輸入も余程減少して来て居るから現況を維持して行けば下期には Trade Balance は正調と見回復せむことも相当の好調を示し得るから、從而景氣の回復も敢へて難事ではないと一部の樂觀論者からよく囁かされるが其の様に簡單に斯の難局が輕視し得るものであつたらば御目度いことであるが、國の對外的收支決済で輸出額以外に計算し得るものは何であらうか、甚だ細かいことである。

仮りに一部樂觀論者の予想通り過熱の好機が出現して輸出超過の喜びが與へられるとも莫大の外資の利根が奈辺ふる財源で決済するものか及同した

斯く叙し去り斯く觀じ来るに根本的回復の要素は國民生活の改善に基調を求めべきものではあるまいが、経済的に觀た生活の改善とは緊縮を意味するものであることは今更贅言を要せないが、堅固一致の難局打開に邁進する自覚と決心が亞國の大衆に與へらるゝ日が果してあるであらうか。

為政者の経済政策遂行難の悩まも斯に存するものではあるまいが、

先きに不況の因をイリゴエン氏に轉嫁し今又斯れとウリブル大統領に荷負はすの亞國民衆の叙上の心理と雄年に物語るものであり、暗愴の行手を眺めて木槎子日暮れて道尚遠きを嘆するものである。

本年度第一期亞國の對外輸出

(自一月至四月)

亞國統計局發表本年度第一期(自一月至四月)四ヶ月間に亘る輸出は金高に於て金貨二九、四六〇、〇〇〇弗にして昨年同期金貨二五、四一六、〇〇〇弗に比較せば一割二分七厘の減少なるも、輸出量は斯れに及して昨年の三八、四六〇、〇〇〇弗を凌駕すること七八〇、〇〇〇弗にして斯の計五、六二六、一九〇弗即ち四割六分三厘の増加あり、斯の差額は輸出品價格の下落を示すものにして最も重大なる農作物價格の暴落あり、大別せば左の如し。

輸出品比較

種別	一九三一年	一九三〇年	差額	比率
畜産品	四、四三三、七三三	四、五二二、三三三	二、三二六、〇〇〇	五歩二厘減
農作物	五、〇五二、四四六	三、一九〇、七三三	一、八六二、七三三	五割六分三厘増
其他	一、三〇三、七三三	一、九六七、三三三	六六四、三三三	三割四歩減
合計	五、六二六、一九〇	三、八四五、七三三	一、七七〇、四五七	四割六分三厘増

輸出品比較 (金貨弗)

種別	一九三一年	一九三〇年	差額	比率
畜産品	九、〇四三、二四九	九、〇四三、二四九	〇	一割一厘減
農作物	一、二〇九、七〇七	一、〇二四、七三三	一、九三三、〇〇〇	一割四歩二厘減
其他	七、九三七、六六六	九、八七四、二二二	一、九三六、四九三	一割九歩八厘減
合計	三、一八〇、五八六	三、一八〇、五八六	〇	一割二歩三厘減

祝獨立祭

醫學博士

河田明

祝獨立祭

稻尾孝樹

出口貞三郎

亞國に於ける アメリカニスモの影響

粹庵

世界大戦以前に於ては「アメリカニスモ」の勢力範囲は北米合衆國に極限せられてゐた。北米合衆國は物質的に著しく盛られた國である。幸は世界各國に認められて居たのであるが、其の獨特の生活様式もしくは思想が國境の彼方に伸展すると云ふ事は少かつたのである。つまり東洋は東洋として獨特の特色を遂げてゐた。然るに世界大戦に於ける北米人の参加は「アメリカニスモ」の普及に絶好の機会を與へたのであつた。活動力の旺盛なる北米人は戰爭中に備けた莫大なる富を以て世界の四辺に進出すると共に彼等獨特の生活の様式及び思想は意速度を以て分散した。

古來確固たる傳統的文化を有する歐洲は「アメリカニスモ」の侵入に對抗しつゝあるのであるが、大勢の如く如何ともする事が出来ぬ状態である。昨年佛國の駐米大使にして有名なる詩人ポール・クロデルが「アメリカニスモ」を稱讚した。佛國の文化に非常な物議を醸した事がある。彼等佛國文化に於ける一々の重鎮であり、また佛國文化の代表者であるにも拘らず輕佻

浮薄なる「アメリカニスモ」に對する攻撃の理由であつた。彼等紀にわたつて世界文化の泉源地となつて居た佛國が古來の地位を維持せんために極力外來思潮を抵抗せんとするに至つた。然るに「アメリカニスモ」の奔流に逆らふ事は決して容易な事ではなからぬのである。現に昨年のことであつたが、保守的の國立スベラ劇場に於て「アメリカニスモ」の劇を上演した事は明に「アメリカニスモ」の侵入を公けに認むるものである。

東洋は西洋以上に「アメリカニスモ」の移入著しく、歐化と云はれて居る事は實際に於て米化を意味する有様である。戰爭後刻に於て北米式の大ビルディングの出現と共に津々浦々に到るまで北米の自動車を見るのである。北米の映画・ジャズは日常生活の上にも影響を與へ、永く傳統を破壊し活々たる勢を以て北米化を始めたのである。

また古來歐洲文化を基礎として造られた南米諸國も亦北米人及び其の資本の南下に伴つて「アメリカニスモ」の影響を蒙り、遂に大陸より遠からんとする傾向を示して居る。

然らば斯くも怖ろしい勢と速度を以て世界を風靡しつゝある「アメリカニスモ」の眞體は一般にんがものである。是れは一言にして云へば「米利加人」そのもの、姿である。即ち獨創的であり、簡單であり、急進的であり、便利的であり、打撃的であり、大衆的であり、知識や「センチメンタリズム」を必要とする大陸の音楽よりも平易で瞬間的で刺戟的ぶ「リズム」を好むのである。また一個一個の念入りに造られる歐洲人の自動車よりも連鎖的に造られる「オート」車の方が實用向きであり、安價であり大衆的である。彼等の摩天閣は「アメリカ」人の實際的性質と速度との「ミックス」打撃性と表はし、安全利力は彼等の獨創性と實用性との代表するものである。また北米の映画は「アメリカ」人の氣質の「プロファイル」であつて平易であり急進的であり器械的であり大衆的であり決して歐洲作品の如く思索や文學を押さへないものである。次に備つて居る理論よりも實地を主とし技術よりも器械に重きを置くのである。従つてまた平易であり萬人向きであり實際的である。

斯くした時代的傾向特質を持つた「アメリカニスモ」が先主の少くも亞國人の如く新國民の間では恰も無人の境を行くが如く浸慢するのである。陳腐で難し實際的ぶ「アメリカニスモ」に傾き

つゝあることは亞國民として寧ろ當然の事である。もはや往時に於ける如く利益を超越して深い研究を重んじ優劣を何物も得やうとするが如き事は、今日の亞國人に望む事は出来ぬ。彼等は余り勞せずして器械的に得らるる大衆的ぶ「アメリカニスモ」を求めつゝあるのである。

斯くして其の思想も趣味も生活様式も科學も一切急進速度を以て北米化してある事は疑ふ可からざる事實である。

併し乍ら公平に「アメリカニスモ」の出発点が功利主義、唯物主義にある事を發見せざるを得ない。その目的は一切打撃的であり唯その本位であつて其れ以上に崇高なる人類の目的と云ふが如きものを見出す事は出来ぬ。過去の「ア」史を稽いて見るとき文明は物質よりも常に精神的のものであつた。堯舜の文化より古代印度希臘羅馬の文明の眞の價値はその徳育の藝術上に表はれたる精神文化にある事に氣付かざるを得ない。十七世紀に始まつた近代歐洲文明は古代希臘羅馬の文明主義を超越した偉大なる人道主義に於て居るのである。

決して今日の「アメリカニスモ」が同すべからざるものである。高級なる藝術品が打撃的にまた器械的に決して出来るものでない。如く眞の人類のための文明なるものは決して「アメリカニスモ」に生れ得ないものである事を忘れてはならない。また亞國に於ける「ア

LIBRERIA
"ORIENTAL"
Santa fé 3757
Malabia 2441. Sept. No.2
U.T. (71) Palermo 1036

祝 亞國獨立祭

日本書店

アメリカニスモの伸張は亞國人の誇りとした人類の利己的の國を爲しつゝあることを忘れてはならない。(完)

25 DE MAYO

1810-1931

廣東樓
支那料理
食味王國

RESTAURANT
CANTON

— Auténtica Cocina China —

Todo gastrónomo
debe visitar nuestra casa.

LAVALLE 1525 = U.T.38 MAYO 2242

CAFE "THE JAPAN"

GENERAL HORNOS 16

U.T. 23 B. Orden 4540

B. A.

CAFE JAPONES

DE MATSUYAMA Y SHOJI

CASA MATRIZ URQUIZA 519

SUCURSAL 25 de MAYO 64

PARANA

E. RIOS

祝独立記念祭

五月廿五日

カフェ・ザ・ジャパン

及川晋治

ヘネラル・オルノ街一六
U.T. フェネルデン四五四〇

祝独立記念祭

パラナ市 カフェ・ハ・ポネス

松山 嘉次郎
庄司 善衛門

S. ONISHI

Importador de Articulos Generales del Japon

24 DE JUNIO No. 36 (U.T. 5148), CORDOBA

祝独立祭

五月廿五日

コルドバ市

大西佐一郎

CAFE JAPONES

CORRIENTES 2561-3
U.T. 47 CUYO 4383
B. SAIRES

祝
亞
國
獨
立
祭

カフエ・ハポネス

酒
井
和
市

七
草
本
万
之
亟

KIOTO

CAFE Y BILLAR
(SUCURSAL DE CAFE TOKIO)
(EN DOLORES F.C.S.)
CORRIENTES 2702 - U.T. 4012 CUYO
B. SAIRES

祝
亞
國
獨
立
祭

カフエ・「京都」

中
間
善
衛
門

コリエンテス街ニセ〇ニ
電話クローヨ四〇一ニ

1810 25 DE MAYO 1931

SIERRA DE CORDOBA

HOTEL "PLAZA"

DE
JUAN KAWABATA

川
端
嵩

(QUINTA JAPONESA)

UNQUILLO
F.C.C.C.

コルドバ州
ウンキリーヨ

CAFE JAPON

DE J. TAKEUCHI

CASA
CALLE SAN MARTIN
658
ROSARIO

祝
独立記念祭
ロサリオ市
カフエ・ハホン
竹内重吉

SUCURSAL
CALLE SAN MARTIN
935
ROSARIO

津
曲
諦
二

アルマセン・カサ・トリ

ALMACEN
CASA ORU
CORRIENTES

コリエンテス市

祝
独立記念祭

PENSION Y HOSPEDAJE RESTAURANT JAPONES

比嘉榮一兄弟

ミシオーネス
ホワードダス市
レストラン・ハホネス

DE
HIGA HIROS
CALLE BOLIVAR 440
POSADAS
MISIONES

祝
独立記念祭
五月廿五日

CAFE JAPONES

CHIVILCOY F.C.O.

祝

亞國獨立祭

五月廿五日

チビルコイ市

カフェ・ハポネス

吉嶺 佐之助

藤田 友八

遊佐 壽

CAFE NIPPON

ADA DE MASSIY, LINCOLN F.C.O.

祝

獨立紀念祭

五月廿五日

リンコルン市

カフェ・ニッポン

坂本 倉太

伊藤 茂左門

1810 - 25 DE MAYO - 1931

"AU PETIT DUC"

JASTRERIA DE MEDIDA FINA

(ATENDIDA POR SUS PROPIOS DUEÑOS)

NUMEROSOS CLIENTES JAPONESES SE VISTEN EN NUESTRA CASA.

CAMARA Y CALVO

SARMIENTO 1073

U.T. 35 LIBERTAD 1279

高等

洋服店

ウ・フ・テイ
デ・ユク

サルミエト街

1073

電リベルター一三九

TINTORERIA Y TALLER DE
PLANCHADO
LA HIGIENICA
D. E.
K. MONDE & H^{nos}
MAIPU 856 - U.T. 31 RETIRO 0344
B. A.

祝独立記念祭

五月廿五日

本出嘉太郎

全小市

マイプル街八五六
U.T. 31 RETIRO 0344

CAFE
"SAN MARTIN"
JUNIN Y CORDOBA, CORRIENTES

祝独立記念祭

コリエンテス市 カフェ「サンマルティン」

寺田秀吉

坂本俊一

TINTORERIA
TOKIO
EN BELGRANO
MENDOZA 2450
U.T. 2819 Belgrano

祝独立記念祭

ALMACEN Y BAZAR
DE
T. NAKAGAWA
SUAREZ 1300
U.T. 0869 Barracas

祝独立記念祭

アルマセン兼バザール

中川商店

市内スアレス街一三〇〇
電 バラカス 〇八六九

ALMACEN
"NISHISAKA"

祝独立記念祭

日用食糧品

味噌・醬油・漬物製造販賣

西坂商店

市内アウストラリア街一〇一
電話 バラカスニ九五

25 DE MAYO
1810 1931

THE JAPAN BAR

祝独立記念祭

チャンバー

新垣徳衛
大城永蒲

25 DE MAYO 427-37 U.T. RETIRO 0675

祝亞國獨立祭

だるま亭

松田清市

市内チヤカブ街七七〇
電話 アベニトク 〇三四三

祝獨立紀念祭

御料理
御旅館
昭和館

松本春松

市内コリエンテス街
電話 クーヨ 二五二九
八七六三

CAFE "SATUMA"

DE KUROKAWA H^{nos}

SERVICIO ESMERADO

CASA PRINCIPAL

RECONQUISTA
424

U.T. 31 RETIRO 2896

SUCURSAL

Av. L.N.ALEM
316-22

U.T. 31 RETIRO 1571

全 義 盛
黑 川 禎 助
カフエ「さつま」

祝 独 立 紀 念 祭

TINTORERIA

"IRIS"

STGO. DEL ESTERO 163
U.T. MAYO 1166

坂 本 榮 次 郎

イリス
染 色 店

TINTORERIA

"GRAN JUD"

B.de IRIGOYEN
1588
Casi Esq. BRASIL

吉 田 仁 吉

「グランジュッド」染色店

U.T.
23 B. Orden
3235

GRAN TALLER
JAPONES DE LAVADO

"EL ASAHI"

宮 園 新 之 助

洗濯店朝日

御 下 宿 末 廣 亭

尾 崎 幸 千 代

市内パトリシオス街一九
五七三五
電話三三三三

GRAN TINTORERIA
Y TALLER DE
LAVADO Y PLANCHADO
"EL YOKOHAMA"
CASA MATRIZ
B^{me} MITRE 2511 - U.T. 47 CUYO 7159
SUCURSAL
RAMON FALCON 2376

横濱
洗濯店
上久保文吉

祝 独 立 紀 念 祭

TINTORERIA
"BELGRANO"

MONROE
2937

花
本
保

U.T.
BELGRANO
3981

TINTORERIA
"JAPON"

TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO
SANTA FE 3600 esq. ARAOS
U.T. 71 PALERMO 6589

サンタフェ街 三六〇〇
U.T. パレルモ 六五八九

竹
村
銀
次
郎

ハ
ボ
ン
染
色
及
洗
濯
店

ENRIQUE MOREIRA

DESPACHANTE DE ADUANA
IMPORTACION Y EXPORTACION

RECONQUISTA
144
Esc. 21 y 22

エ
ン
リ
ケ
・
モ
レ
イ
ラ

通
関
手
續
人

U.T.
AVENIDA
3883

TINTORERIA
"SAGA"

MEXICO 1424 - U.T. MAYO 1259

メ
ヒ
コ
街
一
四
二
四
U
T
・
マ
ヨ
一
二
五
九

北
島
覺
逸

佐
賀
染
色
店

LA YOKOHAMA

TINTORERIA Y SOMBRERERIA
DE C. SUGAWARA

CALLE MAIPU 683

U.T. 31 RETIRO 2168

BUENOS AIRES

店主菅原長吉

マプ街六八三
電話二二六八

遠近に不拘御一報次弟
御伺ひします

洋服帽子
フランチャイズ日本店の特色

迅速と精密なる仕上は幣
店多年の経験と最新なる
設備の結晶で絶対に他の追従
を許しません

横濱高等染色店

祝 亞 國 獨 立 祭

"EL NORTE"

LAVADO Y PLANCHADO

PARAGUAY
1328

谷本兼吉

洗濯店「エル・ノルテ」

U.T.
Juncal
5064

"JAPONEJA"

DE JULIO M. MIYATA

PAMPA 2420
esq. CABILDO

宮田政市

U.T.
Pampa
3560

FABRICA DE MUEBLES DE BAMBU

DE IKUJI SAEKI

COCHABAMBA 1300

佐伯亥九三

コチャバンバ街一三〇〇

竹細工製造販賣

C. Yamada

MASAJISTA JAPONES

CONCORDIA 4878

U.T. 50 Villa Dorote 1226

山田忠重

コンコルディア街四七七八
電話四七七八

日本式按摩並
鍼灸治療致します

EL YAMATO

TINTORERIA, LAVADO Y PLANCHADO

DE M.W. JENO

LAS HERAS 1987

U.T. 44 JUNCAL 5091

和
言
と
染
物
洗
濯
店
瀬
尾
和
太
郎

祝 独 立 紀 念 祭

TINTORERIA
"ASAJI"
DE S. NAKA

TUCUMAN
1654

朝
日
染
色
店
仲
新
次
郎

U.T.
38 MAYO
2316

TINTORERIA
JAPONESA
TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO
K. NAKAGAWA

PARANA
620

中
川
勘
助

U.T.
38 MAYO
7181

TINTORERIA
"EDO"

RIVADAVIA
6114
U.T. FLORES 6963

染
色
店
江
户
我
真
如
古
盛
宗
玉
橋
朝
展

SUCURSAL
CANNING
1074

TINTORERIA
"EL TOKIO"
SISTEMA ULTRA MODERNO
DE HIGA Y CIA

RIVADAVIA
7175

全
比
嘉
彌
源
吉
助

SUCURSAL
VARELA
1142

“EL TOKIO”

TINTORERIA Y TALLER DE SOMBREROS

DE J. KAMIOKE

INDEPENDENCIA 3693

U.T. 45 LORIA 1365

東京 染色店
上 桶 甚 太 郎

祝 独 立 紀 念 祭

TINTORERIA
SOMBRERERIA
“NEW JAPAN”
DE TAAGO HERMANOS

ASAMBLEA 827
(Al lado del Cine Asamblea)
他 阿 吳
全 牛 清 松
U.T. 60 CABALLITO 1220

TINTORERIA
“YOKI”
DE
Y. OKAWA

大 河 榮 一
ARENALLES 2801
U.T. 44 JUNCAL 4675

ENRIQUE MOREIRA

DESPACHANTE DE ADUANA
IMPORTACION Y EXPORTACION

通 関 手 續 人
エ ン リ ケ ・ モ レ イ ラ
RECONQUISTA 144
Ese. 21 y 22
U.T. AVENIDA 3883

DR. GALANTE

麻 病 毒 尿 道
皮 膚 生 殖 器 障 害 專 門
◎ 診 察 時 間
日 曜 日 午 前 十 時 以 前
全 十 二 時 以 前
午 五 時 以 前
全 十 時 以 前
RIVADAVIA 1569
2º piso
U.T. Mayo 3511
ALMIRANTE BROWN 1347
(Boca)

TALLER "HINOMOTO"

DE LAVADO Y PLANCHADO A GAS
Y ELECTRICIDAD

DE ONAHA H^{nos}

LIMA 489

U.T. MAYO 4898

小那覇兄弟

洗濯店
ののもと

祝 独 立 紀 念 祭

HIGIENICA

TINTORERIA JAPONESA
TALLER DE LAVADO Y PLANCHADO
C. PELLEGRINI 74-B - U.T. 4 PLAZA 5520
DE TUCHIDA

洗濯店

「ヒエニカ」

内田貴像

カレコス、ペグリー、街十番十
電話、マラサ 4510

TINTORERIA "EL SOL NACIENTE"

DE MIYASHIKI H^{nos}
SAN JUAN 3434 - U.T. 45 Loria 4331

新屋敷蒲田兄弟

「日の出」
染色店

サンフラン街三四三
U.T. ロドリゴ 四三三

TINTORERIA Selecta

CAIARINHEU H^{nos}.
RIVADAVIA 5455
U.T. Caballito 3256

最新式染色洗濯工
場設備完成して居り
ますから、日本人テナント
レリア諸君の御用命
を願ひます。

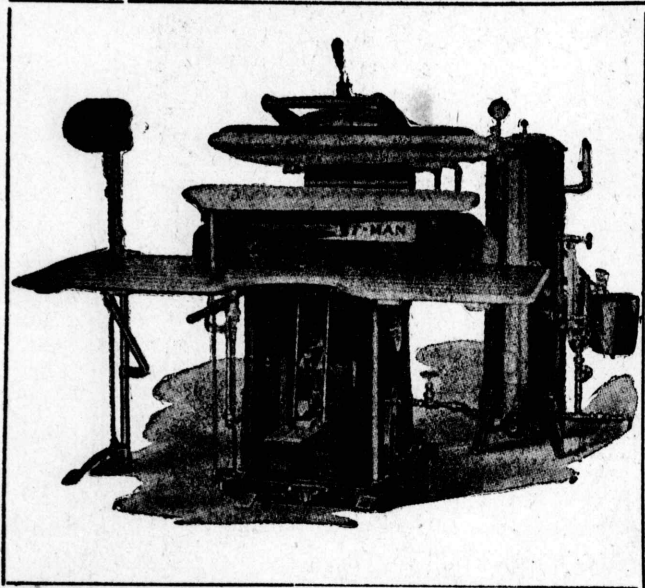
染色 洗濯 工場

Gran Casa de Baño

CALLE BELGRANO 1038
U.T. RIVADAVIA 2486

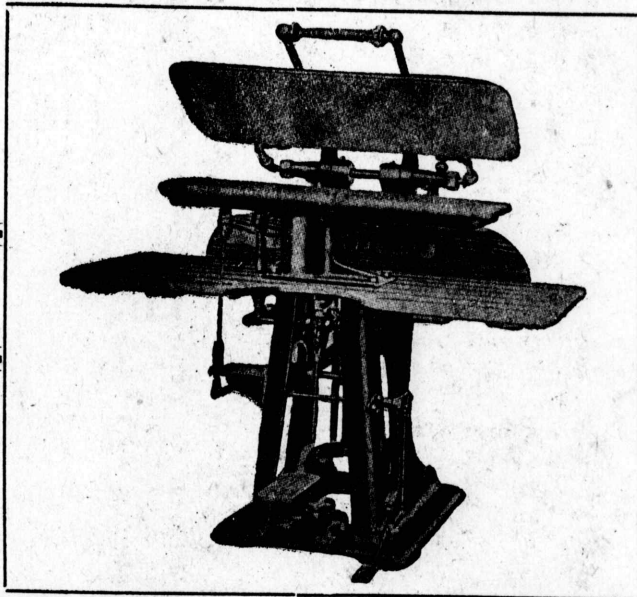
日本人方に
おなじみの
高等衛生
御入浴
土耳古風呂も
あります。

Modelo "KLEAR BUK"
Para Tintorerías



CAPACIDAD PARA PLANCHAR 40 TRAJES POR DIA

Modelo "BTF-I"
Para Lavaderos



MODELO ESPECIAL PARA PLANCHAR:

Ropa interior de seda, Pijamas, Guardapolvos, Camisas
Cuellos, Cortinas, Ropa de brin, Sábanas, Mantelería, etc

Nuevo Modelo "HR-9"
Para Planchar Sombreros

LAS VENDEMOS

CON O SIN HORMAS

• •

PRÁCTICA

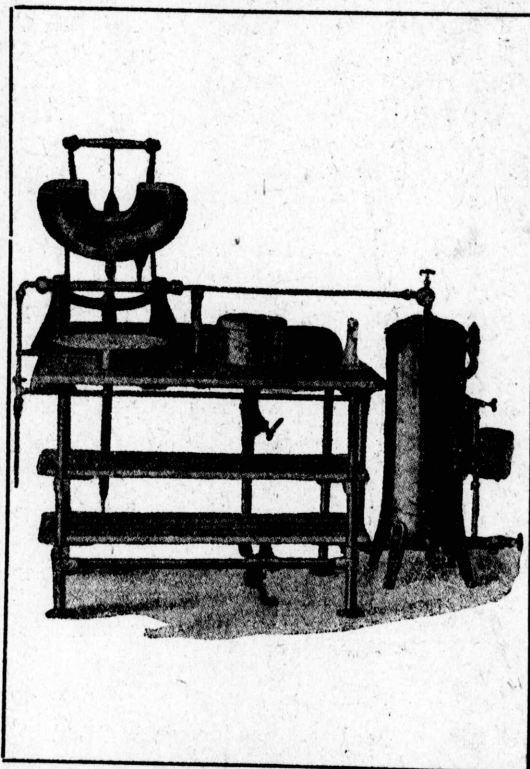
ECONÓMICA

SENCILLA

• •

Como todas nuestras máquinas viene equipada con el famoso aspirador.

Hoff-Man



ESTA MAQUINA SOLUCIONA EL PROBLEMA DE MUCHAS TINTORERIAS, LAS QUE YA NO TENDRAN NECESIDAD DE MANDAR A OTRO TALLER PARA PLANCHAR O CONFORMAR LOS SOMBREROS.

• •

Pase por nuestra oficina en donde tendremos el mayor gusto en darle más datos y precios de esta máquina.

• •

Puede ser acoplada a su máquina de planchar trajes, es decir, trabajar con la misma caldera.

COMPañIA *Hoff-Man* MAQUINAS DE PLANCHAR
(UNITED STATES HOFFMAN MACHINERY CORP.)

LIBERTAD 182
BUENOS AIRES

ROBERTO H. KILSBY
REPRESENTANTE

U.T. 35, Libertad 1425

伯國パラグアイを経て亜国に入る

中川 生

鴨程萬里へ重の潮路を越えて、
嶺の新天地たる南米の一角に放
雀躍たる着伯の才一歩を印して、
り滞聖一週日、愈々諸般の準備を
了し、殊に五月六日夜八時
四十分、同市のソコカバナ駅より、
下界と俯視するも、四圍は既に昏
黒にして、車窓よりの眺望充分な
らず。

翌朝六時頃、遂に地平線上一抹
の白みと帯を帯びたるパラグアイ
の山野は、次第に夜明けの暁より
成し、赤い朝陽の輝き、紅い朝
霞の空を照らす。朝の風、清く
碧色の秋空となり、日輪の輝きに
輝き出で、車窓より展開する一
帯の如非園上に、其の雄光を放射
しぬ。

午前九時、バウル駅に到着せるも
終着地点に連絡する時間の關係
上、當駅に下車し、二泊するの余儀
なきに至る。
空の下に、鳴く蝉や木の秋。
早朝、駅へ近接する街路を、群衆
の余りに右往左往するに依り、
は、河津をくぐり、赴き、見
るに、野茶の市街が、バウル、夏
村及び甘藷、番薯類より、鶏山羊
等の家禽畜に至るまで、綿織し
て、路上に客を呼ぶ内、邦人の二、三
丹精の果たる野菜類を、板の上に陳
列して、商へるあり、牛馬は、駝り
つけて、着るを感ぜし、路上諸
所に、責任する赤土は、冷め、砂漠に

似たるの感あり。
五月九日黎明、起床、同駅發五時廿
分の列車に依り、更に西進、北上の
旅を續行す。車窓より展開する
風景は、ソコカバナ線と同巧異曲に
して、依然たる連丘あり、マコー
に樹並列し、遠く彼方に、走る、鉄
車の、騒音するに、隨ひ、紅塵、万
頃、舌を、車窓より、進入し、
未り、身体は、本は、すも、や、座席は、
悉く、黄化し、空は、赤化せず、んは、
止まず、時、偶々、夜に入らん、が、新
の、放り、て、暗夜の、行路に、一、大、火、の、粉
味を、添加す。午後七時半、空腹
を、覚ゆる、こと、切なる、は、より、食、堂
に、赴き、マ、食、を、喫す、アラ、ナ
と、飲む、糖の、煮付は、グ、アラ、ナ
味と、相俟つて、頗る、美味、ありき。
ハ、ミ、ル、を、支、拂、つ、て、頗る、食、堂、は、高、い
遊、莫、や、う、く、瀟、瀟、の、糖、たり、金
上、リ、ン、ス、アル、マン、等の、邦、人の、居、住
地、ある、爲、車、中、若、干、の、邦、人の、着、席
せる、と、見、る。

サンパウロ州を過ぎ、列車のマント
ロン州に入るに及ん、山野の、風景は、
一、変、し、前、有、の、雄、偉、せる、高、峻、に、及、し、
後、者、は、地、勢、比、較、的、平、衡、的、に、松、大、
し、未、り、牧、牛、は、群、り、飛、び、大、河、の、洋
々、と、して、流、下、する、あり、余、は、列
車、の、最、後、部、の、展、望、台、に、立、ち、大、河、
の、景、を、眺、め、つ、ナ、ラン、と、利、く、に、
突、貫、し、来、れる、知、産、の、爲、の、に、急、
ち、色、彩、を、変、じ、て、城、小、に、暗、も、あ、ら、で、
共に、放、下、する、も、亦、旅、の、一、趣、なり、

翌々拾日、カムホグランド（バウル）
去る（八九四）に到着、下車、邦人、經
營の一旅館に、旅装を、解く、同市
は、目下、人口、約、五、千、余、に、し、て、内、邦
人は、約、千、五、百、余、に、在、住、し、農、に、商
に、着、々、其、の、基、礎、を、固、め、つ、あり、と
聞く、翌、拾、一、日、亭、午、秋、雨、至、る、
約、九、拾、日、振、りの、降、雨、だ、と、う、て、紅
土、萬、丈、たる、当地、に、と、つ、て、は、礫、石、に、
水の、感、がある、が、然、し、格、好、の、散、水
と、な、つ、て、心、氣、爽快、たり、
拾、二、日、午、前、宿、の、主、人、同、道、市、役、所
に、出、頭、市、長、に、面、談、の、上、ア、チ、ス、タ
ド、受、預、料、金、セ、ミ、ル、を、支、拂、の、
更、に、市、内、の、公、証、人、役、場、に、至、り、
該、書、類、の、證、明、を、受、く、此、の、料、金
一、ミ、ル、五、百、レ、ス、
明、く、れ、は、拾、三、日、再、び、旅、装、を、整、え、
マ、九、時、廿、六、分、發、の、鉄、車、に、乗、り、愈
マ、ノ、ロ、エ、ス、テ、線、の、終、点、たる、ホル、ト
エ、ス、ペ、ラン、サ、に、向、は、ん、と、駈、け、去、り、
汽車、は、延、着、の、見、え、み、で、午後、二
時、頃、着、車、の、由、午、後、三、時、半、マ、
ヤ、ク、發、車、せ、終、後、一、時、間、一、雨、至、り、
マ、適、度、の、濕、り、と、な、り、た、る、も、夜、氣、は、
次、日、に、冷、や、う、と、感、ぜ、し、む、る、
翌、十四、日、黎明、ホル、ト、エ、ス、ペ、ラン、サ、に、
着、（バウル）と、去、る、二、七、三、料、直、ち
に、荷、物、を、一、土、人、に、擔、は、し、め、唯、一
の、ホ、テ、ル、に、向、ひ、て、旅、装、を、脱、し、睡、眠
を、取る、

リ、ホ、テ、ル、に、至、る、四、五、町、にも、違、せん
飲、料、水、の、頗、る、不、衛生、なる、に、
及、ん、で、細、心、携、帶、の、キ、ナ、を、素、易、に、
て、飲、下、し、生、水、を、絶、對、に、口、に、せ、
ず、そ、は、早、朝、階、上、より、周、圍、を、
俯、視、せる、に、宿、の、一、下、男、水、壺、を、
提、げ、て、踏、傍、の、一、水、溜、に、至、り、て、汲
み、奉、れる、を、一、瞥、せ、し、に、因、せ、り、
水、中、畜、類、の、骨、紙、屑、等、散、乱、せ、り、
然、れ、ど、水、清、け、れ、ば、魚、糧、ま、す、と、
や、ら、吾、人、の、垂涎、を、禁、ず、る、能、は、
ざ、り、し、は、水、中、に、遊、泳、する、能、は、
の、魚、群、に、り、き、獲、る、人、の、無、き、爲、
が、繁、殖、し、て、大、は、尺、余、にも、及、ぶ、べ
く、彼、々、快、泳、し、つ、時、に、飛、沫、を、上
り、疾、走、する、あり、
船、車、連、絡、日、時、の、艱、難、に、よ、り、て、此
の、附、近、に、滞、留、する、事、週、日、五、月
廿、二、日、夜、上、流、に、る、コ、ル、ン、バ、より、下
航、し、來、れる、汽、船、に、乗、じ、て、更、に、
パラグアイ國に入らん、とす、
當、港、より、ア、ス、ン、シ、オン、に、至、ら、ん、と、す、
ホ、テ、ル、に、目、下、陸、上、交、通、の、便、な、く、水
路、を、利、用、する、と、常、に、す、る、交、通
運、輸、の、実、權、を、掌、握、する、
モ、ン、グ、イ、ン、テ、ナ、社、と、他、に、ロ、イ、ド、ブ
ラ、ン、レ、イ、ロ、會、社、が、二、つ、あ、れ、ど、も、前
者、の、一、半、及、三、等、客、を、收、容、する、に、反
し、後、者、は、伯、國、政、府、の、命、令、に、依、り、
て、三、等、客、を、取、扱、は、す、唯、一、等、船、客
のみ、然、し、て、兩、者、の、運、賃、を、比、較
する、に、前者、は、一、半、に、於、て、高、け、れ、
ども、三、等、に、於、て、は、後、者、に、劣、り、
船、上、に、立、ち、ま、す、洋、々、たる、リ、ス、パ、ラ、グ
アイ、の、流、れ、に、見、入、る、草、の、流、れ、更
の、淵、に、躍、る、自、然、の、妙、趣、に、惚、れ、し、
ま、し、は、し、た、が、其、の、境、に、驚、か、ず、
三、等、船、室、は、才、一、甲、板、下、船、首、の、下
部、に、依、り、履、台、は、約、廿、人、余、を、收
容、する、に、足、る、く、特、に、婦、人、の、爲、に

聖、拾、日、カムホグランド（バウル）
去る（八九四）に到着、下車、邦人、經
營の一旅館に、旅装を、解く、同市
は、目下、人口、約、五、千、余、に、し、て、内、邦
人は、約、千、五、百、余、に、在、住、し、農、に、商
に、着、々、其、の、基、礎、を、固、め、つ、あり、と
聞く、翌、拾、一、日、亭、午、秋、雨、至、る、
約、九、拾、日、振、りの、降、雨、だ、と、う、て、紅
土、萬、丈、たる、当地、に、と、つ、て、は、礫、石、に、
水の、感、がある、が、然、し、格、好、の、散、水
と、な、つ、て、心、氣、爽快、たり、
拾、二、日、午、前、宿、の、主、人、同、道、市、役、所
に、出、頭、市、長、に、面、談、の、上、ア、チ、ス、タ
ド、受、預、料、金、セ、ミ、ル、を、支、拂、の、
更、に、市、内、の、公、証、人、役、場、に、至、り、
該、書、類、の、證、明、を、受、く、此、の、料、金
一、ミ、ル、五、百、レ、ス、
明、く、れ、は、拾、三、日、再、び、旅、装、を、整、え、
マ、九、時、廿、六、分、發、の、鉄、車、に、乗、り、愈
マ、ノ、ロ、エ、ス、テ、線、の、終、点、たる、ホル、ト
エ、ス、ペ、ラン、サ、に、向、は、ん、と、駈、け、去、り、
汽車、は、延、着、の、見、え、み、で、午後、二
時、頃、着、車、の、由、午、後、三、時、半、マ、
ヤ、ク、發、車、せ、終、後、一、時、間、一、雨、至、り、
マ、適、度、の、濕、り、と、な、り、た、る、も、夜、氣、は、
次、日、に、冷、や、う、と、感、ぜ、し、む、る、
翌、十四、日、黎明、ホル、ト、エ、ス、ペ、ラン、サ、に、
着、（バウル）と、去、る、二、七、三、料、直、ち
に、荷、物、を、一、土、人、に、擔、は、し、め、唯、一
の、ホ、テ、ル、に、向、ひ、て、旅、装、を、脱、し、睡、眠
を、取る、

聖、拾、日、カムホグランド（バウル）
去る（八九四）に到着、下車、邦人、經
營の一旅館に、旅装を、解く、同市
は、目下、人口、約、五、千、余、に、し、て、内、邦
人は、約、千、五、百、余、に、在、住、し、農、に、商
に、着、々、其、の、基、礎、を、固、め、つ、あり、と
聞く、翌、拾、一、日、亭、午、秋、雨、至、る、
約、九、拾、日、振、りの、降、雨、だ、と、う、て、紅
土、萬、丈、たる、当地、に、と、つ、て、は、礫、石、に、
水の、感、がある、が、然、し、格、好、の、散、水
と、な、つ、て、心、氣、爽快、たり、
拾、二、日、午、前、宿、の、主、人、同、道、市、役、所
に、出、頭、市、長、に、面、談、の、上、ア、チ、ス、タ
ド、受、預、料、金、セ、ミ、ル、を、支、拂、の、
更、に、市、内、の、公、証、人、役、場、に、至、り、
該、書、類、の、證、明、を、受、く、此、の、料、金
一、ミ、ル、五、百、レ、ス、
明、く、れ、は、拾、三、日、再、び、旅、装、を、整、え、
マ、九、時、廿、六、分、發、の、鉄、車、に、乗、り、愈
マ、ノ、ロ、エ、ス、テ、線、の、終、点、たる、ホル、ト
エ、ス、ペ、ラン、サ、に、向、は、ん、と、駈、け、去、り、
汽車、は、延、着、の、見、え、み、で、午後、二
時、頃、着、車、の、由、午、後、三、時、半、マ、
ヤ、ク、發、車、せ、終、後、一、時、間、一、雨、至、り、
マ、適、度、の、濕、り、と、な、り、た、る、も、夜、氣、は、
次、日、に、冷、や、う、と、感、ぜ、し、む、る、
翌、十四、日、黎明、ホル、ト、エ、ス、ペ、ラン、サ、に、
着、（バウル）と、去、る、二、七、三、料、直、ち
に、荷、物、を、一、土、人、に、擔、は、し、め、唯、一
の、ホ、テ、ル、に、向、ひ、て、旅、装、を、脱、し、睡、眠
を、取る、

祝獨立祭
鈴木 驥一郎

祝獨立祭
松田 五郎

祝獨立祭
大林 多吉

祝獨立祭
田中 乙吉

祝獨立祭
田中 乙吉

文明を捨てた男(コト) 粹庵

私が数年前に讀んだ或佛國の新作家の "Macbrade man" (黒い愛妾) と云ふ小説の中に出て来る一人の農科大学の教授の生活と云ふものが私の頭の中にこびりついてゐる。殊に最近には私の友人に起つた一つの事件やうと云ふものは以前以上の執着を以て私の記憶に浮んで来るのである。私は今此の友人に起つた出来事と云ふのを述べる前に、あの黒い愛妾の中に出て来る農科大学の教授の人物に就いて説明するの必要を感じる。高橋に座する。彼は佛國政府の使命を帯びて佛國西部亞非利加の内地に綿の耕作地を開く目的で送られたのである。全然白人社会を感ぜず、断えず黒人と接觸して居る間に何時の間にか彼の白人としての性格を失つて来たのである。さうして巴里に待つてゐる家族や友人を捨て、黒人の仲間入りをして終つたのである。小説の主人公となつてゐる監督の秘書が内地を旅行した際、同教授を訪ねて行く。昔有名であつた教授も今は衰へてしまつて、変り果てた姿でみすましといふ人小屋の土間に裸で横たはつて居たのである。彼は僅かに十年はがりの間に佛語をすっかり忘れてしまつて、殆ど會話すること出来なかつた。會話する者は其の教授を稱して

全然 "Gorilla" (ゴリラ) 文明を捨てた男であるとなつて居る。人間は環境に依つて変化する動物であるが、文明人が野蠻人に同化するなど、言ふ事は以前私はどうしても信する事が出来なかつたのである。然るに極く最近には私の友人に起つた出来事や斯くも明かに、黒い愛妾の作者の言葉に裏書きしやうとは、夢にも私の想像しなかつた事である。扱つて私の友人に起つた事件と云ふのは先づ次のやうなものである。有田は日本の或る農科大学を卒業した後、耕作に従事する目的で東亞したの今から約八年前の事である。彼は生来の勉強家であつて、武市の近郊に於て耕作に従事して居る間に常に研究を續け、一九二五年の頃であつたが日本に於て、放畜上に於ける研究を發表したのである。それから彼は南米の土人の研究を始め、その材料を集めるためにチヤコ方面に向つたのである。其の後、私は消息が絶えたのである。私は其の当時彼の身の上を非常に心配して、レスペンシアの友人に彼の捜索を頼んだのである。僅かに有田がチロコマ、コマ、コマ、コマ河の上流地方に住むマターコ族並びにチロコ、チチ族の土人の研究をすることを志す森林中に單身で入り行つた事だけ分つたに過ぎな

かつた。それから三年経つた昨年のことには或る事業のためにミシネスに旅行したのである。其の時、東に計らずも山田と云ふ同僚の口からボサードを去る二十キの米部落中に一人の外国人が住んでゐるとそれを知り、日本へ入らうと云ふ話を聞いたのである。同時に私は有田のことを思ひ出したのである。そしてその日本へ入らうと云ふ外国人こそ有田に相違ない。さうして予感を得たのである。またさうして、其の男に遭つて来たければ、済まない氣がしたのである。

私はそれから数日後、其の地方の事情に通じた一人の土人の通訳を同席して小舟でチコマ河を上り有田の住んでゐるといふ部落到着した。早速通訳を通して、外国人のことで尋ねると未だ住んでゐると云ふ。また相當に尊敬せられて居ると云ふのである。彼の名前が「グレイ」で、人相が眼付きが「グレイ」で、日本人に相違なかつた。翌日、愈々「外国人」の小舎に出かけたのである。その小舎と云ふのはチコマ河の支流の岸に建てられて居る途中で見つけた多量の木で作つた粗末なものである。吾々の一行が入口に立つと一人の赤裸体の男が現はれて来た。それが有田であつたのだ。頭髪や髪は、私ははう(と)さびて居るけれども、一見して分つたのである。

「有田どうした!」 俺だ、田中だ、と私は手を延ばして下らうとしたのである。彼は唯だ茫然として私の顔を見つめるばかりである。同時に土語らしい呻息を出したけれど、私には聴き取れなかつた。

「有田! 田中だ、君の友人の田中だ!」 暫くは「ああ」と私が話しかけると、彼は夢見るやうな眼で私の言葉を聽いて居たのである。不意に手を延ばして私の手を握つた。彼は始めは私の記憶を辿つて来たやうであつた。

それからやうやくの事で日本語で喋り出したのだ。併し昔のあの快活な有田と如何にも思はれぬ程考へ考へ時々土語を混へたり喋り出したのである。それから彼が部屋の隅の薄暗い所に向つて土語で何々呼ぶと、一人の半裸の土人の女が立ち上つて来たのである。彼はそれが彼の妻だと言つて紹介した。顔の淡黒い、美しい女である。併しまた是れは何と云ふ物だらう! 彼女のふつと見事に發達した胸部から胸部まで、丁度希臘時代の塑像の美しさを備へて居るのである。

彼は俄かに自分の姿に氣がついたやうに、奥の薄暗い所に這入ると一枚の腰巻のやうなものをあて、現れたのである。それが、私は彼に土人の研究に就いて尋ねると、彼は顔をそむけてしまつたのである。山の様に積んだ書籍の間に、任んで居た彼が今では新聞一枚も見當らなかつた。

小舎に寝そべつて居るので見ると私は自らの愚問を責めたのである。

併し私は是非とも彼を連れて帰る可き義務を感じたのである。その旨を彼に傳へると、彼は否だと云ふのである。でも、とにかく明日の朝は一緒にボサードス通、行くから準備するやうにと云つて、着の洋服やシャツまで残して吾々は夜を過した。船に引き寄せられたのである。

翌日早朝に私は彼の妻を誘はると彼の姿もまた彼の妻の姿も見えなかつた。また前日残して行つた洋服もシャツも其の儘になつて居るのである。私は不審に耐えないので通訳の土人を通じて近隣に住む土人の家族に「外国人」のことを聞かせると、彼は妻を連れて森林の中へ這入つて居つた。恐らく他の部落到着るだらうと云ふのである。

其の時、私は唯だ果敢としてしまつたのだ。そしてあの数年前に讀んだ「黒い愛妾」の文明を捨てた男と云ふ言葉と想出したのである。

(完)

祝獨立祭
中川末次

アルゼンチン・タンゴの座談會

七子擬記

出席者
 仁保 浦人 江田 海村
 南山 破夢 馬耳 山人
 齒 興二郎 七 子

七子「今晚は美都三氏にお差支え
 りまして御出席願ひの
 ので私代つて御挨拶申上
 ることになりました。お断りし
 て置きますが、タンゴ座談會と
 云ひましても、既に昨年の記念号
 で美都三氏が可なり精細に發
 述してあるもので、其裏にお
 含み下すつて、其れと重複しな
 い範圍でお話し願ひたいの
 です。」

浦人「早速話題に入ります
 先日も日本の友人からタンゴの
 名曲を十数種送つて受けて、せ
 づかぬと聴いたことあるのです。
 如何です、仁保氏などは在在邦人
 の単分株です、所謂世に忘
 れられた名曲まで色々御存じ
 ですか？」

七子「それはな、六十歌の
 座談會です、二十年前ではこのブ
 ノス・アイレスで一年間に十
 十曲、六十曲のタンゴが發刊さ
 れた、かつたのが、現在では一日に
 二十曲乃至二十五曲も發刊され
 る有様です、つらね、そんな
 作曲家協會の統計に依ると
 一年間に約二千五百曲のタンゴ

が世に發表されてゐるやうです
 齒「恐ろしい数字ですね、これ
 は作曲家の数は？」

浦人「ブエノス・アイレスのみで一千五
 千人と数えられると云ひますが、著
 名な作家は十指を屈するに足
 らないやうです。」

七子「曲の方でも人口に膾炙される
 のは一年間に二十曲を越えな
 いです、どうですか？」

馬耳「そんなものです、どうせ二千五
 百曲の中で二千四百曲は、幾
 直し物で、自作自演で已惚れる
 位な、さうして、」

浦人「(一筆) 海田、何しろタンゴの演奏されて
 る箇所がブエノス・アイレスだけ
 一万五千ヶ所もあると云ふ程です
 づら、新曲又生れ出るべからず
 せう。」

七子「終つては、ラ・クンパルシエ
 ほどのものは出ないやうです、
 クンパルシエの前はクンパルシエ
 無クンパルシエの後にはクンパ
 ルシエ、無クンパルシエの後には
 一体、どうも、然るるといふ、それ
 作曲家達は、何を夢見てゐるの
 せう。」

仁保「いや、あれで、色々と苦しんで
 るのです、私も然る、然る、然る、
 家訪問記に、(一) 眼を通し
 て、おぼろげに、彼等は皆異口同調に
 「骨を削り肉を削ぐ途炭の苦み
 と許入る、」と云ふ、」

七子「Gata noche me emboraché
 の最近の「yo... yo...」で
 有名な Enriquez の Salsabito
 などは、毎日々々、新曲の断片、韻律
 を生み出す為には、何に對つて
 座禪をして、暮すのだからです。
 Dog in a doghouse の曲は、
 は、然るして、八月の日子で、費
 れた、と云ふこと、」

南山「Gata noche は、現在タンゴ界の
 寵兒、でせう。」

仁保「う、随一です、何しろ彼は、
 詩才もある、自作詞で作曲出
 来る、といふ、強味があるのです、
 ら、」

馬耳「一体、二三年前からタンゴ、
 ポンリ、Valada 換言すれ
 ば、ワルツ化されて来たやうに思
 います、」

南山「終つて、然る、傾向があるや
 うです、」

仁保「総ての藝術に、変化があるやう
 に、タンゴの变化も、免れ難い現象
 でせう、それに、タンゴは、あれだけ
 切なる哀韻を、盛つて、や、曲、
 ある、にも、拘らず、少數の曲を除く
 他は、一般に、莊重味、足り、ない、と
 いふ、缺點があるのです、」

七子「新機軸を出さうとする場合、莊
 重味の横溢して、あるワルツに、接
 近し、やうになるのは、何も不思議
 では、ない、です、」

七子「然る、なると、現在タンゴ持つ
 独自性、といふもの、が、全然失はれ
 て、行く時代、が、来は、しない、で、せう、
 南山「そんな、事は、萬、ま、ない、と、云、へ、
 る、で、せう、私は、是、處、あ、ら、ゆる、曲、を
 通、じ、て、な、ま、タンゴ、程、獨、自、性、の、強、い
 メロディア、は、ある、ま、い、と、思、つ、
 て、る、な、す、」

仁保「勿論、です、私は、先日、或、人、の、
 作曲家、に、云、は、せ、る、と、タンゴ、の、基
 調、は、破、韻、律、だ、ら、う、だ、と、云、ふ
 こと、を、聞、き、ま、し、た、が、それ、が、
 の、外、嬉、しく、感、じ、ら、れ、た、の、で、す、
 破、韻、である、タンゴ、に、して、尚、今、日
 の、權、威、が、ある、と、す、れ、は、他、日、音
 樂、界、に、如何、なる、革命、が、起、ら、う、
 も、も、タンゴ、の、獨、自、性、は、動、か、し、
 もの、だ、と、思、入、ら、う、です、然、し、今
 日、タンゴ、の、韻、律、が、持、つ、領域、は、
 可、なり、狹、隘、な、もの、ら、し、い、です、
 El Caminito... El Pastore
 nito... の、作、曲、家、は、ト、リ、有、名、な
 Juan de Dios Filiberto だ
 ら、う、し、ま、も、タンゴ、に、表、現、出来、な
 い、韻、律、パ、ン、チ、ョ、ン、が、あ、つ、て、若、造、す
 る、然、る、し、た、も、の、表、現、に、向、後
 は、ワ、ル、ツ、の、畑、を、開、拓、し、た、い、と、思、ふ、
 と、嘆、じ、て、ゐ、る、や、う、です、」

七子「それは、総ての、藝術、家、が、創作、に
 際、し、て、感、じ、る、通、有、の、焦、燥、で、は
 ない、で、せう、か、？ 吾、々、は、現、在、で、は
 未、だ、自、己、の、意、志、や、感、情、を、微、妙、に
 完全、に、表、現、する、機、能、を、喪、失、
 され、た、の、で、ない、の、で、す、か、ら、い、
 Beethoven の、例、へ、ワ、ル、ツ、に、ま、つ、て、も、
 タンゴ、の、場合、と、同、じ、障、壁、に、直、面、す
 る、だ、ら、う、と、思、ひ、ま、す、人間、は、誰
 も、微、妙、な、感、情、を、通、じ、て、表、現、出来、得
 ない、微、妙、な、感、情、を、抱、いて、藝、場、に
 這、入、つ、て、く、もの、で、す、」

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 祝獨立祭
高橋常作 | 祝獨立祭
廣中仁一 | 祝獨立祭
大崎繁松 | 祝獨立祭
吉川六郎 |
|--------------|--------------|--------------|--------------|

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

馬耳「ねえ君、その調子では味香座談会になりなうだぜ。」(一)

祝独立祭 明興園 賀集兄弟

祝独立祭 橋口喜平

祝独立祭 石井白帆

祝独立祭 村上清市

祝独立祭 田川清



近景 マツ弥

I
曇り日のつくく
今日も暗き一日
ふと
陽光のれれ出でて
わが血明かるし
あ、街道に
終日
木を伐る人々よ
しほし
手と休の
汝が憂鬱をばらへ！
II
何事もなく
何事もなく
わが幸を愛する日かな
伐り倒されたる
ユカリ樹の新しき株の下に
あ
われひとり
懼ける秋の日の午後
哀れふる樹木の死とおもふ
冬近し III
彼の暖かき枯木に
小鳥数多集り
胸ひろげて
白き糞を積む

思慕 のぶと

冬遠からじ
君去りて
ひてりのこる
みらさに
愁のおもし
ちさき石
ひとつとりて
扱けて見ぬ
草の丘
初秋のくれがななり
佐々しや
ふと見れば
踏みなられた
ひてもの 暖車
われの如く
はかなし
夕べなり
たゞがれごき 彦左
抱えられたアヴァンティの吸殻が
紫の煙を
細々と一すし立て、おる
——日暮時の舟着場の憂鬱です
ボジェーラの波が
むせつへる様ふ芳香の飛沫
ジマズ吐息をもらしました
——たゞがれ時のマイアー街の
感傷です

影 逸郎

昨夜の名残りは
乱雑にふらんだ
セルベーターのボテージマに
にび秋の陽が
鏡筒の影を
書き出してゐる
冬の墓場 蘇南
灰色の墓標は夕暮に淡く浮んでる
夢中の故人はこの實園に永眠す
煙ぶつた線香の煙は中天に遊び
手向けた花は墓上に淋しく眠つておます
五月の嚴寒に水たらしに消然と
彼れと彼女の遺體は此処に啼く
立樹に居眠る小鳥の呼吸は散る
夕暮れを響かす寒風は心身に沁む
静かに寂しく暮れた墓場の森は
冬の寒気が包んだ故人の別天地です
寒さと淋しさに怯んだ現世人は
墓参の不足に灰色の墓標が泣きます
寒に暮らす私はねたむる涙を散らし
彼の女の安眠の魂に熱した呼吸と繋げる
一束の花と一本の線香を焼らしらる。さう
嚴寒にふるふる彼女に一滴の涙を流す
灰色の墓標は五月の寒さに浮んでる
永眠の故人が草に話しながら寒気に啼く
寂しさにふるふる小鳥の口から青火を吐く
静寂の墓場の冬は寒さに暮れます
——一九三二・五一——

宵待草 京太郎

街には灯りすもや
窓には灯
待てど末のし
待つ口
この夕暮れにあぢけさ
煙草のけむりのほそく
肉の断片を味ふべく
暗黒の夜に浮れ出た
聴て葉園境に入ると
戸口のかげで
切ふ思ひに帰る弱者が
熱い唇を押しあて
飽のやうな接吻に……
夢中に乱舞した
神祕境！
神祕境？
それは
余りにも現実を
かけはふれた
丁度衆園の
神祕を加へた味である
——三一・四・本——





短歌

秋十題 のぶを

ことなき日たにすぎしつ
うつしみの
行方思えば淋しくもあるかな
淋しさのやに強けれど
ひとときは
うた唄ひつ、心堪え居り
淋しさにタンゴ唄文は
唄ふ声にさびしみのあり
涙はおつれ
恋ぶること旅はわりなや
秋深き
アラサのパンコにも思ふかな
日とともにアラアラ渡る風寒み
冬となるらし
街の夜を恋ふ
はがきは
故園の消息しつこりと
小雨にぬれて着きし宵かな
靴ずれで
夕べの宿にかへり来れば
暗きパテイスに友待ち居たり
若き友の
悲しき恋を教けてか
秋の夕はつれなかりけり
隣り家は
若き夫婦の住めらし
独り臥す夜のおちつめつも

白塗りのパテイスの楳に
黒猫のいよ／＼黒き
月あかりかも

カンホ雑詠 京太郎
(古き日記帖より)

霧深み、たれか叫びたき心地して
意味なき言葉怒鳴り散しぬ
雑糞の匂い哀しも卵取ると
入りたる雑舎に卵はあらず
日本語をおはつたなくもわのきつ、
雑居へるギンタの子はあはれ
靴の響くあひ間を啼き交はし
啼き交はしつ、牛の群行く
秋深きこの眩暈の夕焼けて
牛追ふ子等のふさぎ影はも
パンパン行われにうれしき月夜ふり
はのうなるかもアラアラの灯は

暮秋 捨小舟

街路樹は
一雨毎に色ませど
やがて散るかと見ればさびしも
失ひし職を求めど
職のなく
街をし行けば秋風を吹く
踊子の腿の黒子と
見つたてとよるこぶ友は

童貞ふりし

恋をした女の言葉の
あきらめを聞けば
男に罪ありと云ふ
おとなしく我にだかれねる女の
肌ははりはも
俺はし秋の夜

俳句 パンパ雑感 逸朗

淋しつにたへがねし夜は
酒のみて、ようて
うれしく眠らんと思ふ
夢は、
君と歩みし徑道も
かたみに摘みしクローバもなし
秋の陽の落つるに似たる
この我の境思へば
死ふんと思ふ
パンパン吹き荒む夜の
わびしさを
切ふなじみの名を呼び見ぬ
一九三二—マートヨ—

俳句 パンパ雑感 逸朗

おほまかに風のなるるチャアラッ
アラモ並木たぐ暮れ色おれはなつかしむ
馬じつと動かでパンパ黄昏る、
コセーチャの渾んではる／＼パンパさふ
レチユーワの啼くヤパンパの秋の暮れ

パンパ暮る、静寂に鳥音ふとあがる
悲く秋 逸朗

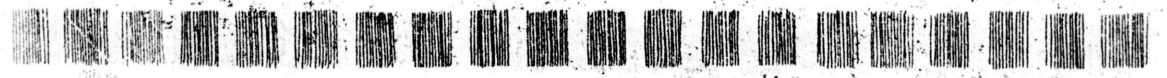
悲く秋のものおさましき身のまわり
パテイス掃きて秋悲く朝のおもひかた
悲く秋やふと見る長き己が影
コルティナに悲く秋の陽影揺る／＼かな
行秋やランテの灯に夜気重し
悲く秋にパテイスの濃き突かふ

霜の朝 から鳥

落葉かさしはし休のり霜の朝
煙り長ふたなびて行く霜の朝
白き息さしてはし休みけり馬ニ匹
霜枯の梢過ぎけり馬一羽

冬の夜 狂月

ピストルのパンパンに響く夜寒かな
アラルトの跡語り行く冬野さふ
板小屋や友の齒ざしり冬の夜半
— 五月ゾテリスにて —



流れ星の夜

ガをる

雪を合んだ風が顔と言はす手て
言はず爪を露出する部分
を遠慮なく咬んで来る。炬燵
に這入って暖いコビーでもす、りり
だらうが。然しNには若し血が流
れてゐた。つまり生きてゐるのだつ
た。完全に！

晝の騒ぎも何処へやら湊川公園
には何の音も一つ聞えなかつた。
時々枯木を鳴らす風の音と、そ
れに比較しては余りに細い、ル
ンペンの吹拂のみだつた。ある程
見ればNの所有したベンチの四五
間先につつま江川乱歩の一寸法
師を照してゐた電燈と同じ光
り。同じ様なまた、きを扱けて
る。向ふの木の下に二人のルン
ペンが坐つてゐる。或人々にこつ
ては——つまりNの様を考へ其の
瞬間に持つてゐる人にとつては
一種の興味を起さした。うら
う。然し彼はそんな事には全々
無頓着であつた。
白粉と口べに塗落と、そして人
々のざわめきを天に向つて扱け
てゐた。否今も扱けかけてゐるだ
らう。神々の空を感して眺めて
ゐるのもむかつた。青い火花
を散らして須磨の方に走つて行
く乗客のまはらむ。するどい音で
立てる電車の後を追ふでもあつ

つた。懐に入れてゐた左の
手を出してベルトに火を
つけた。すでに彼の足下
には五つの吸殻が無造作
に散らんでゐた。別に甘
いと思はなかつた。
然し、今宵の決行は、いま
煙草が必要である事は、
予備知識として彼の頭にあつた。
或は新聞の三面記事や花柳欄
から会得したのかも知れない。
一本の巻煙草をつけ終ると、又花の
手を前より一層大事そうに
こころに入れた。なぜか、それは
円紙幣一枚と一円紙幣一枚と
他に銀貨を取りまけて三三三三
いつてゐる財布があつた。うらだ。
曾て彼はそんな大金を、と云つて
も自由に使へる金を持つた事
なかつた。夕食を喰ふ時でも何
だか喉後にからんで食べられへ
つた。食後友人と二人で宮島へ一
泊旅行をするのだと云つた時
は彼の顔は、多分その類や声の中
に或変つたおちつた物を見
し得た筈だが、父親にはそれと
気がつかずあつた。そしてやつと彼は
今の大金を得たのだ。

途中友達の家へ宿つた。然し留守
だつた。少しすれば帰つて来る
から待てと云つた。何が御馳走
出たのぞも知れない。何時もの彼
つた。又向むしに坐り込んで、持
つた。両親の手前仕方なしに持
て来たトランクが此処でも又一泊
旅行のうそを言はしめた。此の時
はじめて友達の名前と父親から
さげられた事とを、こんなふう
らしく思つた事……この一週間

の準備が此の一言で全く駄目
になる事、彼は其の時始めて知
つた。何だか、気が持たない、あ
いまい、断りを言つて逃げる様
に歩いた。次に共同便所にはいつ
着けて来た袴と帽子をマニッケー
スに入れてその代りに古ぼけたハ
ンティングジャケットが五分列の頭に乗
つてゐた。彼の目は絶えず周囲
に光つてゐた。警官に逢はれつ
た。ある拘捕のやうに……。然し幸あ
たりには、警官は驚かされた。
其処を出ると彼は停車場に行
つて、小荷物一時預り所に手荷物
を出せば、丁度下開きの急行
が出た。さうして、取買が
乗客と思つたのだらう。彼の行動
に注意して早く、と催促するの
で、意味を早くと、又おかしな事
が、其時十五銭が財布から出た。
さうして、新聞地へと意だ。
さうして、此処は着たは、サエも
ソシニアフであった。サエも
ピストも、銀行員も、裏屋のおぢ
さんも、あらゆる階級の人々が、
波を作つてゐた。或る者は活動寫
眞の繪に、或る者は女給の後姿に
関東煮の煙に、シロウイロの半
は、彼等の眼を、うら、れ、め、た。明
るい光の下を、不良少年の如く、け
れ、れ、と、又、それ程に、意、地、が、さ、く、
一町ばかりも離れた。逃げる様に、し
て、彼は、路次へ這入つた。其処に十
銭の、ろ、の、ある、こと、を、Nは、前、々、
ら、知、つ、て、ゐ、た。

時計は七時四十分、彼はなるべく紙
幣には手を附けまいとあせつて、
た、成るべく多くの資本を残して置
きたかつたのだ。何時もの彼だつ
たら一流の劇場活動寫眞館を

訪れたらう。然し今宵はそれ
とは全く異つてゐた。決行すべ
るものに対して、彼の頭は、乱れ
てゐた。目の前に立つてゐた二人の
教師にも、それと終つて入れ替つ
た。煙草の手踊りに、さうして、面
白く、思つてゐるなかつた。たゞ、時
間、さ、た、ま、は、ま、い、と、終、終、時、計、に、は
かり、氣、を、く、は、つ、て、ゐ、た。カ、カ、と、セ
カ、ン、ド、の、音、さ、も、聞、え、る、程、に、……
何、の、面、目、の、サ、時、々、人、々、の、拍、子、
起つた。其の度毎に彼は、舌打ちを
した。この様に、して、其、処、も、彼、に、は
十二時を待つまい。場所ではなかつ
た。

彼は現に、商業の五年生である。
唯一つ最も恐ろしい者であつた。
学期末の當と、生徒監督が、昨今、
りに、劇場、寫眞館、ヤカン、に、注
意、し、て、ゐ、る、と、噂、が、学、生、間、に、
れ、さ、う、さ、れ、へ、話、さ、れ、て、居、つ、た
事である。この狭い牢に居る活
るかも知れない。さうして、不安が、
々々、多くなつて来たので、其、処、を、出
た。もう町も静かになつてゐた。
五分の時計を眺めてゐる。である
マントの襟を立てた。同時に、ベンチ
を離れた。レンペンの姿も見えな
かつた。何故なら、一人の巡査が
向ふ方から、さうして、其の瞬間に、
逃げる様に、して、其の瞬間に、
を、あ、さ、ら、め、て、同、的、の、福、袋、を、
に、姿、を、現、し、て、ゐ、た。
さうして、此、処、は、不、夜、城、である。紅
燈軒に並び、引子と兵隊が、散、解、し
た時の様に、一定の間隔を置いて、家
の出入口に腰をおろしてゐた。
た、中、には、又、伸、を、し、た、り、居、眠、り
として居る者があつた。その兵隊と

違つてゐた。それでも人々が通ると
不思議に目を覚まして、呼吸を
忘れなかつた。裸足の白い女が
一人の手には箱を持つた男で、
れ、ま、カ、ラ、と、足、音、を、立、ま、て、
ま、つ、た。
彼の胸は異様な、さうして、液を
打つてゐた。のどは乾ききつてゐた
が、決して水を求めやうとはしな
かつた。時折、煙草が彼の腹を、
送つて見た。何故なら、マントの
下から、留米絨が見えてゐた。こ
んが、巻を、彷彿ふには、余りに、
む、お、ほ、つ、ち、や、ん、に、見、へ、た、ら、
彼は平生の様に、しつかりと、
しめて歩けぬ。足と次の路次に入
れた。其処にカフエーおに、ち、や、ん、
あつた。

その前、二人の男が争つてゐた。
十四五人の男が取り囲んでゐた。誰
も止めやうとはしなかつた。女給
が二人、腰の下から首を出して、
た。其の一人は、偶然顔を見したN
は、の、こ、り、見、る、力、を、失、つ、た、
町に這入つて行つた。
其、処、に、も、又、さ、う、さ、し、客、が、さ、う、
と、し、た、お、お、の、声、で、鳴、い、な、が、ら、
いてゐた。マントが帯の上にあや
くがら下つてゐる男もある。
一カ標、愉快、標、大、和、標、山、村、標、と
一ツツ、と、見、な、が、ら、歩、い、て、
もう大分度量も出来て来たのだ
らう。彼は冷へき路上には、
り目を落してゐなかつた。
どの引き手も、彼を、
さ、ま、ま、ん、は、が、り、に、呼、ん、だ。
新大塚標の前まで来た時である。
突然、暖簾をくぐつて来た赤い標
の履巻を着、羽織をその上へ引かけ
(以上二十頁四回目へつづく)



悪魔を泳ぐ

江見利夫

I

自分の心は絵の形式から離れて構成された人物に露西亞のミルキー・ホワイトに似た魂と点描させた自由画——そんな言葉が若し許されるならば、つらつらと、たかたか、この自由画の持つ、これこれの基調が自分の歩んできた生活過程のレフレンドに終始されるかと思ふ事もあるし、亦ふとした描寫——意識の働きが——今少し、修運的なる色調を脱して思ひがけ、好果を醸し出して意識的に——少くも自分の心の画は意識的に理智的印象派になることもある。然し此の画にしたつて、自分の生活全部の中に藝術的至純が、幾分でも欠けてある同——それは、賤しく營利的色彩がパレットに盛られた時々のだ——は自分の心の画の價値は絶対性と欠くかも知れない。

然し此の大きな形骸は現在自分が脱れたいとあえいでゐる生活の安眠の油で溶いて此の自由画の完成と自分自身で急いで見たいのだ。勿論、油の溶き方に手固い自信と持合せない此の画は何時画面に醜い電燈と生じて来るかも知れない。兎に角、カンバスとイーゼルに載せて眺めてゐる位である。それが現在の生活の全部なのである。

II

昨夜もまた、手はギターを抱え、たまたま魂は憂鬱に震えてゐた否や、憤怒に近し感傷が爆発するに、泪が未だ未だの黒天鶯のフーサを響け廻った。アベニダに還するE街の十時は未だ明るかつた。落ちて来る泪を拭ひ、せせせと急ぐ自分を怪んで、友人の女性を振り返つた。夢遊病者の様に歩む自分と見ると、これも自分は愉快になつた。喜悅に似たものと感

するものである。自分は笑ひながら泣いて歩いた。肩のアルマセンは今労働者の魂の開放場だつた。カルタが煙草の海を泳ぐと、疲れた彼等の眸が遠ざかった。整へ過ぎた自分の服装に射る様を視線と浴びると、私は労働者でない整へ差恥から来る眩惑を感じた。立つた儘、強さうな酒を二三杯乾した時、憂鬱が大車な憂鬱が、匙で行きさうだつた。握つても握り切れぬ、あの感觸が自分を襲ふと、視界は已に高速度の廻轉を開始してゐた。

III

白晝である。裸の女や男が歩いてゐる。肌を青や赤や黄や黒に塗つてゐる。性器まで塗りつぶしてゐる。彼等は高唱してゐる。否や、彼等は酒を満喫して狂人の如く狂ひ乱れ下り、舞踏場に繰込んで行く。自分は急いで次のコートを脱ぎ、入つた。凡ての礼儀を無視した舞踏が初まるのだつた。接觸は自由だつた。夫人を盗しても平氣だつた。裸体の胸が切られた。血だらけに倒れたのもあつた。グロテスクな場面が四野の視野を占つた。

IV

併し其処に居る人間が皆ん裸体だ。みんな全裸の真似をしてゐる。だから少しも可笑しさを伴はない。却つて別な原始的世界に立つエーモラスな混交してゐる。私は、バルカサールを夢みてるのだつた。

と自分は艶麗なカタライナの踊り子と踊つてゐた。深黒の髪と清澄な眸が、嗚呼、魅力で迫つて来た。然しそれは理智的の迫力だつた。廻轉燈の投げる、赤・青・黄緑の光波の中をタンゴの働鬼に乗つて泳いで行つた。それは此上ない陶酔の明るさから来た不確実なセンチメントである。追憶の尸文、叙人的なノスタルジアの中に血を流す。従つて表現するものは失望と、燃える様で地中海の悲哀との誤謬を許さない。パンドネオンの告白だつた。彼女は印象的なる悪の相手だつた。このパンドネオンの音程、沈黙せる悪の強音符と、涙の不安を苦しめるものは無かつた。フレレイドの奏でるメロディアは大きな罪惡の激情と、大きな道徳の犠牲を飽和させて行き下ら自分の魂と彼女の眸の中で救はれて行つた。

<p>祝 亞國獨立祭</p> <p>裁縫師</p> <p>佐伯克太郎</p>	<p>祝 亞國獨立祭</p> <p>F.C.S.</p> <p>祝 獨立祭</p> <p>中間栄二</p>
--	---

それは丁度空虚な心の吐息を吹き立てる爲めに、恐れも憐れも持たない瞬間的な快感詩であつた。

突然自分はデヨランダの群に日本の婚約者の顔を見た。が然しタンゴのメロディアは婚約者の悲願的

もこれ以上は倦怠だつた。水兵帽が飛ぶ。コレネータが唸る。

人は瞬間的な憂にも真剣であり得る。自分は女を横抱きに踊るより泳いでゐた。

ギョーラの髪を贈物にするとなつて上着のポケットに手を入れた。ドドリ

上気した頬に熱れた無花果の乳膏を感じて睡めた。

らに置かれてあつた。部屋は古典的な職場型のベラドールがなやな

野に拡大された無花果に喰ひ絶ると無言の裸体画は微笑し下り自分を

争突、二つの裸体が抱き合つて悶えてゐるのだつた。それは寧ろ神秘的

赤紫色に残してあつた。愛を奪ひ去つた二人の唇が各自の情慾の草を

冷やかな朝霧が窓から足がどむと太陽の光は殆んど屍体に近い二人を

ロンドンの朝、愛人と裸体の儂寝台

に発見されてゐた彼の屍体。曙光にさらされた彼の死は敬虔

床の中で苦笑してゐた。午後太陽は高かつた。今敬虔に祈つてゐる

自分には疲れた身体を自分を持つた。彼等も亦悪夢を泳ぐ人々の群れであつた。

VI

(元)

流れ星の夜 (十八頁よりつづく)

そして長煙管を手にした女につかまつてしまつた。彼の顔は泣き出し

それを見た彼は新大段様の二階の四畳半でふるへてゐた。

昨年だつた。女は肺を患へて、それよりもはる流れ星の落ちる夜に死んで行つた。

(おわり)

祝獨立祭

松井元治

JAPANESE SILK SUPPLY DE S. OKABE CHILE 910 5º Piso Der. U.T. RIVADAVIA 2349

祝獨立紀念祭

五月廿五日

岡部壯一

川橋 漫文 武市のエロ 念然坊

アダムとイブが楽園の林檎の味を覚えたより、以来、エロに迷ひ、イットに魅せられ、尊き生命を断ち、財を失ひ、親に及ぶし者救限りなく、人エロに生れてエロに死す。女ならでは夜の明けぬこのブエンス・アイレスの裏の道中に空々と大新聞にこれ見よがしのエロを賣る広告を出してゐる。マサヒスタはペリクオ・マサヒスタ、人足繁き都大路も何のその、大らにやつてゐるエロ商賣は怖い小父さん警察も手足を出し難き様子なり。

マサヒスタの帰りは腰が痛くなり、日本むら下ふ文の按摩さんのお株を奪つたハイカラなるマサヒスタ、腰の痛いのを治す、痛いの所を揉んで癒すがマサヒスタ、変れば品変わる。武市のマサヒスタ、若い女の上三三三人ずらりと揃へてお入りなさいと空に入れば、腰の痛いのを治すとお伺ひすれば、さかぐり捨てたマサヒスタは、ハイマント百パーセントを見せませう。これでは帰へり、腰の痛いのを治す苦は、いし、帰路は足許定まらず、十日縛ってエロを賣る、これも武市の一景なり。

ムシカ

吉田通は二階から招く、レウカも産の子の振袖で、徳川のエロ脚燈、二階市のエロ脚燈、海岸通は二階から招く、レウカも、手を持つて、エロ百パーセントは、海岸通りアレム街、音楽を看板にエロを賣る、物色、二階市の相物も上の空客を、この西洋の降りに行くの暗示を、さかぐりに放逐し出すなり。

モリススタグ針の持ち知らぬなり、電車内、隣に御座座は、これたる一美人、年は三十九、九つ、少し通る、越し、若る、ワイ、横顔見し、なる、眼に、コソソリ、腰に、一葉の紙、に、し、の、は、せ、後、に、見、は、ロ、コ、リ、タ、モ、リ、ス、タ、マ、シ、ン、入、り、の、名、刺、は、り、後、日、御、家、庭、御、訪、問、申、し、は、り、

バ

勘定は頼むと女連れて出る、音に聞えたブエンス・ペリ、若いも年増も入り交り、赤い灯、青い灯に客を呼ぶ、呼ぶ、これと思ふを空はらして、いくら、と、價を、は、つ、け、友より、お、先、に、失、敬、し、て、お、い、勤、定、は、頼、む、と、懐、中、筆、殺、考、へ、て、バ、イ、モ、ト、自、動、車、に、打、乗、り、て、目、を、す、は、彼、女、の、住、居、な、り、

この頃は客種が、悪る、な、つ、つ、来、た、の、が、不、景、気、の、た、め、が、我、こ、は、こ、の、バ、イ、の、ク、イ、ン、な、れ、と、感、張、つ、た、面、を、し、て、も、初、ま、ら、ぬ、サ、ペ、ン、な、ら、で、は、身、を、賣、ら、ぬ、な、を、大、き、な、こ、と、を、言、つ、ま、見、よ、誰、が、相、手、に、す、る、の、が、時、は、二、更、三、更、と、更、け、さ、行、く、三、時、の、閉、店、時、間、は、切、迫、す、明、日、の、バ、ン、代、々、も、入、ら、ぬ、に、マ、チ、ョ、に、何、の、面、さ、け、で、帰、ら、れ、る、か、

祝 獨立祭

十、八、分、も、値、下、け、す、る、な、り、二、時、三、時、時、は、刻、々、と、進、み、客、は、ボ、ツ、ツ、ク、な、り、今、晩、の、鴨、を、進、め、し、て、は、四、十、面、さ、け、で、賣、る、見、せ、し、し、タ、リ、フ、ア、セ、グ、ン、ダ、女、持、ち、十、面、で、ム、イ、エ、ン、と、値、下、す、る、な、ら、も、女、は、弱、い、の、な、り、

祝 獨立祭 寫真機械 及 レンス 販賣人 佐藤 四郎 比嘉善三郎 全善幸

Advertisement for 'EL JAPON' featuring '祝 獨立祭' (Celebration of Independence Day) and '寫真機械 及 レンス 販賣人' (Photography equipment and lens sales). The ad lists the name '佐藤 四郎' (Sato Shiro) and '比嘉善三郎' (Higashi Yonosuke), along with the address 'Rodriguez Peña 266 U.T. MAYO 6665' and phone numbers '三〇八九' and '九二〇六'.

情夫

マチヨの目ざりと光る月曜日

昨日は日曜、終夜移いだ苦勞も知らず有金すつかり、レレモ通のバカカス狂つて一文もなしになつて帰つた情夫の憎くし、帰るや直ぐに縁何かない、今晩遊ぶにカフエ代出せとシロリ、とどむられながら、今夜も十時半から入りに入り、嫌な客の御機嫌とらねはならず、昨日の日曜に今日月曜日の不入、マチヨは嫌だ、離れも出来ず、辛い務めの苦海の水、何時にいつたら足洗はれやう、これも身の錆誰怒まん、腐れ縁とてあきらめませう。

御亭主と便所の隅に幽閉し

籠の鳥より尚辛し、洋川サのこの務め籠の鳥より歌う、歌へば、頭から水から籠の掃除まで人のお世話に預かるに、夜は夜で涼平橋に枕を交し、晝は晝に男の目か光り、逃ぐることに出来ず、親許に甘い男の言葉につられ、遠い親許に逃げたは未だ、欺されたに氣付いたときは、最早や後悔後には立たず、嫌であつても亭主と名づけ、女の尊い操をも賣つて働かねば、金のためには亭主と一時便所の隅か、コシナに幽閉して心にもない、睡言云つて客の機嫌を取つて、二、三、でも多く稼がせよ、と。

赤カーテン

禪は何だ、と女くどく聞き

虚洋航路で又方振りに女の顔を海岸通で見たが、十、二十、三十、支拂金のない貧乏野郎、二両で我慢せいと赤カーテンをくぐる、本を習慣すれば、大和魂所有の船乗、外国までも禪のめ、感張つては見たが、女の奴には何の事やら薩張り判らず、金頭勲章でも持つてるのじゃないかと、くどく、聞かれるが、西班英語の判らぬ船員殿には何ぞ何やら珍費渡費、シ、くどく、逃げや打つ。

ノービス

家の方を気にしなうらに手を握り

冷いパン、何の何の、惚れたからには寒くない、毎夜ママと女の家のプエルタに通はにやならぬ、ノービスなり、妻は首目一夜でさへも男の来ぬ事でもあれば、そりや大業だ、嫉妬の交とは胸には焦がし、九時と十時と夜遅くまで、プエルタに男を待つ、ハヴィアになるも亦辛い、可愛い男が訪れて来れば、家の方では氣にかけながら、手をはしつかり、握りしめ、喋々、夜の更く、知らず、怖い親の目、今にも時ははせぬ、と家の中をば時々、氣にし、恋と氣兼ねの二重かけて、辛い逢瀬と兼

しむものぞ。

小便の臭い位は氣にならず

仕事帰りを待ち合はせ、人足少、路次に入り、壁を背にして、女と立たせ、遠の膝言何時果てるやら、共同便所の少し、武市ぢや、あたりかまはず、立小便の跡は、ア、残つて、あるに、意に旨目の、ノービス、臭い位には、氣にふらず、楽しう、うりに、二刻三刻話し合ふなり。

時事川棟

フリテカ紙の癡禁

蒼蠅も遂にビシマリと潰される

革命直前、警官隊に包圍され、新聞破棄の要目と見たるフリテカ紙も、革命成就と共に大いに男をあげたまで、は、う、つたが、小人の悲しうは、少く、附より、遂に今回、癡禁止を命ぜらる。政陽、陽管、陽の賦と作り、と蒼蠅と記號とするフリテカ紙、後政府に憎く、ま、今日、の要目と見る、汝に出でたるものは、汝に、か、又誰ぞ、が、怒まんや。

西班牙の寺院焼打

法王も葉喰へどサモラ痰呵きり

國七、び、山河あり、フリモ、ゼリ、ベラ、ベレンゲルと軍國政治に依つて、権威を專断せし、西班牙王國も時勢には、勝てず、アルフォンソ十三世も七命し、アルカラ、サモラ、遂に天下を取れるも

未だ王室その勢を失はず、ベレンゲル、釈放と勅命に坊主憎くけや、家まで憎くして、寺院焼打と化し、これに驚いた、ローマ法王、嚴重抗議、ふん、他國の統治権まで干渉せん、とす。世に宗教の政治に干渉せん、とす。悪しき、は、ふ、し、西班牙は、西班、牙、より、何の権利あり、ローマ法王、干渉するの、必要あらんや、坊主は、木の葉の如く、云はると、清少納言の言の葉も、亦、宜、ふ、るか、な、い。

サンタマリア様では通らぬ共和政

葉九層倍、坊主丸儲け、サンタマリア様と善男善女と丸めて、た、旧、教、も、王室の庇護から離れて、は、河、童、の、陸、より、更、の、水、さ、が、如、き、に、今、や、神、聖、の、教、の、給、へ、も、通、用、せ、ぬ、積、年、の、罪、を、今日、知る、サンタマリア様も、御存じ、な、し、天、の、神、様、さ、を、か、し、共、和、政、と、承認、せ、ら、れ、し、事、なる、べ、し。

有髪の女僧

妾等と同塵なられるとモガは云

祖國ニユースの報する所に依れば、阿彌陀如来も、西、瓜、は、嫌、と、女、僧、の、有、髪、許、さ、れ、し、と、す。断然ガツテ、リ、尖、端、歩、を、断、髪、の、モ、ガ、これ、は、大、変、い、く、ら、何、ん、で、も、せ、坊、主、と、同、塵、へ、ら、れ、て、は、尖、端、ガ、ー、ルの、威、信、に、関、す、と、定、め、し、文、句、百、パーセント、を、な、ら、べ、た、事、と、遠、い、亞、國、で、餘、計、な、心、配、し、て、も、見、る、な、

NIÑOS 小兒科醫院 Dr. Manuel T. Cafferata Especialista del Hospital de Niños CONSULTA DE 14 A 16 Calle Cavallos 664 U.T. MAYO 5468

祝 獨立 祭 Gran Taller y Tintoreria Japonesa de K. UCHIDA 内 田 貴 像 C. Pellegrini 747 U.T. Plaza 5520

危険の尊貴性を論ず

陸上に生棲するあらゆる脊
 推動物のうちで雄性は闘争的
 傾向を多分に有つてゐる。し
 も甚だしく攻撃的で常に善闘
 闘争性を有するものもある。人
 類はさうかと云へば幸つ不幸
 此の部類に属する。斯の闘争性
 なるものは肉食動物も草食動物
 も通有するのである。併し何
 つれごとく云へば肉食動物の方
 がより以上普遍的だと云ふ事
 が出来る。

「成功」——それは優劣の
 る事がある。——その成功の
 ものよりより以上に成功の性
 質を獲するのだ。そして此の事
 は生命の現存が愛に形を變
 へる時の「生殖」と相似た如くあ
 る。と云ふのは英雄の死は權
 しい名譽となり「完全愛」は肉
 的感覚の極致たるの点に於て
 ある。

人間放れた業も個人的に於
 てのみ出たものである。蓋し
 個人には神様の様も聖人聖
 者ども造り得やうとも聖人聖
 者の國家を造る事は不可能
 なのである。實は「國家の道徳
 と云ふ言葉」へ未だないところ
 國家の良心を有たないところ
 生物的存在に過ぎないものである
 から随つて道徳なるものも有り
 得るわけがない。國家から見た
 「善」の概念は國家自身の成功と
 いふ概念と融合し混然たるも
 のがあり両者の間に劃然たる
 境界がない。愛國的に云へば
 その國家にとつて都合のいい、從
 して國家に於て都合のいい、從
 してそのものは「善」であ
 る。そして國家が強制し得る
 時はそのものは「正しい」と云
 つては舞ふ。

誰れでも知つてゐる通り月日
 と共に變化し、そして個人も満
 足させる個人なるものも亦彼れら
 の如く一時的のもの變遷し行く
 ものだから。

國家の現実は闘争本能の現
 定と一致する。即ち両者共に捷利
 といふものに依つてその本能を満
 足させる。更らに亦た世の中に
 危険のない生命は無く國家も亦
 生命ある存在である事と記憶
 すべきである。落ちるが死ぬ
 るかと云ふ、不斷の可能性其物た
 ら「危険」は人間をして絶えず
 抵抗すべきエネルギーを絶えず
 呼び起させる。

但しそこに放棄が敗北が、意
 起する場合に別であるが兎に角
 闘争に打撲とうと全力を傾ける
 時生命の発展する状態は生存
 尊貴なる所以も亦またここに
 存するのである。

右の如き生命の緊張状態は
 國家的生活を構成するあらゆる
 活動のコンパートに於ける調和
 が大である程その状態は
 良好となるもので、それがた
 めには訓練が必要と可からざる
 ものとなつて来る。即ち國民は
 各自に依らず善良なる意志
 ——それは不斷の活動に於ける
 愛國心と以て己に相應する事
 と出来るだけ良くやつてのけな
 ければならぬと同時に階級を尊
 重し之を実現せしめなければな
 らぬ。階級なくして可能なる生
 存は有り得ない。

本田 哲

大井 得二

祝垂國獨立祭

高木 一男

淺沼 五平

つるが故に訓練と善良なる
意志とは國家の精神的基礎を
構成するわけである。だから
祖國を戴かずして人類のイデ
アロギーを説く耶蘇教の教派は
主として上述の原則に及ぶ
たとへ貴族制のない國家に
たて、自分の性来の資格によつ
て名譽と権得し得る人達や、
は名譽と生存の最高善と見做
して、犧牲の精神によつて之を
得する人達等によつておのず
貴族階級が構成される。犧牲
的精神により貴族となるのは
ほんふんかとはは、それは藝術
家、學者、政治家、軍人等、即ち
富み榮え、安全な社會のいわゆる
指導者と見る人々がそれである。
貴族階級の存在は必要不可
缺である。若し之れが存在せ
ない時は必ず僧侶や富豪若くは平
民階級の政治者が行はれる。然
しこれは亦永續きしない。或
時期の後には貴族政治に舞臺つ
て仕まうものだ。何故かれば藝
術科學、行政、防備
危険な名譽等なき社會は存在
し能はぬ。之を要するに優れ
たる総ての人はたとへ其の人身
貴族たる事と欲せずとも貴族
である。……貴族即ち社會のコ
ンダクターであるのだ。それは
又如何にと云ふにおよそ如何
なる創作發明にせよ、その作者
明者にこそ有益なるものは人類
活動場裡の如何なる処に於て
も一個人的のものとして止まる
のではなぬ。
大衆はそれ自身善ののために
何等役に立つ事はなぬ。

大衆は單に受動的に「善」を受
け入れる事を知つてゐるのみであ
る。傑れたる人物に対する大衆
の憎悪反感は自分達に從屬的
位置に立つ処がら生ずる。そ
こが羨望心を満足させやうと
する俗人たり小人たるの悲し
とも云ふべしである。
金満家の學者、名譽まけられ
たる藝術家、大衆から認められ
たる政治家など何処の世如何
なる所に見出されたいであらう。
久に見出されたいであらう。
唯だ偉い人物が死んでしまつた
時大衆がこれらの人物に対する
憎悪もあるだけ満足させた時
に於てのみは別だ。此処にも
亦は行に於ける匡救すべきら
ざる爭議の一つがある。(完)

附記
右の一篇は「ラ・ナシオン」紙主筆
レスポルド・ルゴニス氏が昨年
五月同紙上に於て論じたもので
あります。原文は極く簡潔に
表現されてゐるだけ、それだけ意
味の捕捉に困難なる文章であ
るのです。私は之を出来るだけ
平易に訳出しやうと努めた積り
であります。何しろ拙訳の拙
文が、私自身さへ意に満たない
節がところどころあるのを恐
ります。唯、現代亞國文壇の元老で
あり且つ操觚界に燦然と耀く巨
星レスポルド・ルゴニス氏の抱懐
する思想の一端をわが讀者諸
兄にもお傳へする事が出来るな
らば望外の幸とする処です。
(S. S. 生)

祝 獨 立 祭

廣	佐	坂	鈴	上	稻	市	中	菅	石	大	指	中	池	緒
中	伯	場	木	田	富	吉	野	沼	幡	迫	宿	村	田	方
仁	克	三	帖	秀		真	萬	九		繁	一	陽	誠	義
一	郎	郎	郎	助	忠	市	郎	郎	任	藏	男	三	造	雄
水	波	山	山	右	谷	長	川	大	千	津	平	原	南	
野	谷	脇	内	田	口	江	村	島	原	曲	川	田	保	
		源	龍	輝	納	萬	定	一	康	恒	末	旭	正	
勉	助	雄	度	助	年	吉	郎	健	生	郎	友	巖	治	

内外時報

輸出制限栽培制限の問題を議してある

小麥輸出の十ヶ国代表が倫敦に於て去る十八日以來會議を開き...

獨逸關稅決定は國際裁判に附される

獨逸西國間に結ばれた關稅決定は六十五國聯盟理事會に於て...

英亞貿易の題下にウエールズ親王演説す

過敏訪亞せられた英皇儲ウエールズ親王は去る廿一日倫敦で催された晩餐會(武市に開催せる英博...

亞國の對外貿易

昨年度(一九三〇年)の對外貿易統計局は昨年度に於ける對外貿易價格の統計報告を大...

二黨員の聲明書

武州の旧イリゴエン派を中心とするベアル派一派のアンチペルソナリス...

て期待されてゐたが、いざ發表されて見ると、新生のラヂカル党として發表されたものが世よから...

ウ政府

言論の束縛を緩める

最近亞國新聞紙協會はウ政府に對つて、言論の束縛を緩めたいと云ふ請願書...

前内相コンソールス氏

出獄す

イリゴエン政府の内相コンソールス氏はかねてモリス監獄内に幽閉されてゐたが、昨今母堂病床...

歌劇のコンソールス氏

近年金儲主義の興行をつけたので、メキシコ人気が落ちたコンソールス氏は、イリゴエン政府の没落...

獨立祭の分列式

廿五日の獨立祭当日は、亞國陸海軍各隊の分列式は、アラサ...

公告

昭和六年五月十五日以降、領事及屆書類宛名、左記通り記載スベシ

ヨを中心としてアベニダ、デマヨ、フロリダ街方面に於て午後一時より開始される筈

私事家事の都合にて本日出帆

のプエロス、アイリス丸にて帰國致すことになりまして、出帆に際しては御多忙中にも拘らず...

辱知諸考

謹啓 小生儀本日プエロス、アイリス丸にて帰國致す事、相成矣、滯留中...

辱知諸考

辱知諸考 五月廿三日 松井元治

最近ニュース

政府愈々減俸案実施か

減俸案実施か

(十九日東京発)本日午前、定例閣議で、日本鉄相は減俸案の経過内容を説明し、「国民全体の所得は減少し、諸物價も大正九年以来一割四五分漸落し、貨幣價値が増大した。官吏に於ては大正九年の戰爭平當で本給に繰り上げ、任官割増、委任官五割、委任官三割の増補となつたが、そのまゝであり、國民一般経済事情から減俸を決定した。各省會議の経過を報告して、次で實向に答へて、

- 一 減俸範圍は一般官吏、軍人、月額五十五円以上、
- 一 産婦人は減俸せず、小學校教員の減俸は大体に於てやむを得ぬとの方針である。警察官は半定上五十五円以上は少なく職務の性質上減俸せず、
- 一 実施期日は六月一日、選れても七月一日、
- 一 減俸は暫定的にあらざる故期限を附さず、
- 一 説明して、司法官の減俸は構成法七十七条勅令で改正し得るの方針に決定した。

東京地方裁判所判事減俸に反対

(十九日東京発)東京地方裁判所判事は法律擁護の立場から減俸反対に決し、十九日午前、民事部判事部

豫審部の部長判事廿名に召集状を發して裁判所會議室を本部とし、協議するに決定した。投票の結果をみた上で合流する。

陸軍軍人の減俸

(十八日東京発)陸軍省では政府の減俸に對して十八日午前十時より午後二時、閣議室で局長會議を開いた。結果陸軍の初任官中尉及少尉を除く、年俸の平均額は二、四四六円で、中尉少尉を加ふる場合は平均額一、八四四円となり、他省は給額平均最高額の拓務省の三、五〇五円より、一、〇五四円、又最低の司法省より更に六、七四四円の少額を示してゐる状態である。大尉少佐と同相当官級の人員が多数の爲めである。陸軍は人事行政が行詰まれる爲に他省に比して大尉少佐の職には非常に長い間止めて置かれるので、此等に対して更に他省と同様の減俸を打つことは無理である。この減俸を打つ場合は中佐同相当官以上の減俸率を高く、少佐同相当官以下の率を低くする様決定した。大體俸給を元の如く改正し、三百五十万円捻出の方針であつて、政府と交渉する事となつた。

大尉(一)	二、八〇〇円	一、七五〇円
中尉(一)	二、一〇〇円	一、五〇〇円
少尉(一)	一、五〇〇円	一、一〇〇円
大佐(一)	四、六〇〇円	三、一〇〇円
中佐(一)	三、六〇〇円	二、四〇〇円
少佐(一)	二、六〇〇円	二、〇〇〇円
大尉(一)	二、一〇〇円	一、五〇〇円
中尉(一)	一、五〇〇円	一、一〇〇円
少尉(一)	一、〇〇〇円	七、五〇〇円
大佐(一)	四、六〇〇円	三、一〇〇円
中佐(一)	三、六〇〇円	二、四〇〇円
少佐(一)	二、六〇〇円	二、〇〇〇円

慶明戦に於て

俄然問題と惹起す

(十九日東京発)立教と敵した慶明と早大をストリートで破つた明大の二戦は、今春に於ける同大学の戦であつた。俄然試合半ばにして問題を惹起し、激怒する下大応援團は、本團團長の指揮の下に隊位を組み、校歌を極端に高唱して、神宮外苑に引上り、紀念講堂に立籠り、放歌喧嘩を極め、中には酒気冷めたる学生もあり、トランプ否定、慶大腰本監督の不法について喝やまず、十時半に到り報告を同僚ボクシング同題、援團統制問題に就き、リーダーより簡潔なる報告をなし、十時近く解散した。

(廿日東京発)明大では、岡田監督は大隈部部の永田元華午前十時、横田学長に面会、各方面の意見は出場態度に決定したと報告し、学校として本部長辞任を申請した。岡田監督若回答の後、辞任決定になつた。

金換算百五拾九円・九仙也

Caldera Hoffman de 21 tubo deposito de nafta de Ocaasion vendido RIVADAVIA 5455

御下宿 末廣館 尾崎幸千代 市内パトリシマス街 一八九 電話(フニエルズ)五七三五

日本食料品 味漬(一四〇) 漢草(一四〇) 松茸(一四〇) 福神漬(一四〇) 鮭(一四〇) 高野(一四〇) 鮭水(一四〇) 海苔(一四〇) 味の素(一四〇) 味噌(一四〇) 醤油(一四〇) 白米(一四〇) 日本白米(一四〇) 市内アウストラリア街 一〇一〇 電話(ハラウカ) 二九一五 西坂商店

CASA PINTOS Calcahuano 281 U.T. 35 LIBERTAD 0568 商店向き 包装用紙各種 包装用麻紐 木綿糸類各種 文房具・事務用品 一切販賣 日本人各商店の御用命に預つてゐます カサピントス

Dr. E. Buljevich Bdo. de Urizoyen 1404 U.T. (23) B. Orden 0279 無痛拔牙 ニペン セントス 五ペン 金 十五ペン 金入歯 十五ペン 松入歯 六十七ペン 此の切抜き待考の 方には限り以上の 割引値に致し、併 診察時間 午前九時より 午後八時まで

減俸案の大綱定まる

明治四十三年の昔にかへる

(廿二日東京発) 定例閣議午前十時
開かれ、江木鐵相より減俸案大
綱報告し、渡辺法相、小泉蔵相、南
陸相、各管内の及対情勢報告の
後、最低基準百円以下は愛慮すべ
き事態を招致する懼れありと、緩
和し、某閣僚より所得免税の百廿
円まで引上げよとの意見もあつた
が、花の如く意見一致した。
次回の閣議で案案を作成するが少
の妻更は免れまいと。

減俸大要

六月一日より
一 親任官最高二割減、一万二千円を
九千六百円とする。右は明治四十三年
以前の俸給である。
一 各大臣の八千円を七千円とする。一割
二分五厘減。明治初年未だ四十三
年までの減俸である。
一 根府藤岡官その他親任官一割
一分より一割四厘減。
一 奏任官一割一分以下五分八厘減
一 判任官五分減とする。月俸百円を
基準として百円の者は八十五円、
百十五円は百八円、百三十円は
六分七厘、百六十円八分三厘減。百
八十円より二百円まで一割減。
一 判任官九十九円九十八円は九十五円と
し、八十五円以下には改正法適用せ
ず。
右の結果減俸範囲を越れた者は選
官省通信書記補、農林省林務書記
補、逓信省書記補、農林省林務書記
補、内務省書記補、官立監獄長、
司法省監獄長及び部長、貴族院院守

日清製粉の

瓦斯タンク爆発

(廿二日東京発) 日清製粉鶴見工場
瓦斯タンクは午前十二時五十分大音
響で爆発し、同工場は延焼中。
尚火勢猛烈な手がつけられず、附近
にはスタンダードオイルの石油タンク
あり、警戒中、負傷者は百余名で
ある。

明治大学出場せず

才五位となる

(廿二日東京発) 理事会決定、明大は
才五位と決定した。優勝率決定に
は明大試合は筆入せず。早慶が同
率の場合、明大は二勝した。早慶
が優勝。早大慶慶に連勝して明大
戦を筆入して同率ならば決勝戦
をする。日割は元の通り。

裁判官長が国家損失

早く死刑にしろと犯人喜ぶ

東京府下千住及び岡山の殺人事件
の犯人五、味哲と田中は、今朝十時
五分東京地方裁判所で小林裁判長
から死刑の判決あつた。犯人等五
名は平然として、日本の裁判は斯
の事件に二年も三年も要するは國
家の大損失である、これは違つた
審判ありたし自分等には何も思ひ
のことどころなし、直に死刑執行を
りたしと豪語した。

原阿佐緒

舞台に立つ

石原純博士に遊ばせられて、バレー
リヤの経営者の一人となつた女流歌
人原阿佐緒、女史は今度女優とな
つて四月の市村座に出演。最近映
画で話題になつたハインリッヒマン
作の『嘆きの天使』の主演カーラを
演じ好評を評した。

東京青交間のマラソン

(廿一日東京発) 奨励会主催の東京
青交間四月二十四日のマラソンは六
日青交出發以來落伍者皆無出、
残つた六名は今朝埼玉果と茨木果
の境の栗橋町を出發して都入り
となつた。今時十五分又補選手
ニ宜橋前のゴールに入る。續いて千
葉聖子、三番目は松本聖子である。
青交以來の所要時間で一等は千葉
左衛門五十五時間四十六分一秒、二等
松本四郎五十六時間五十八分一秒、
三等久松吉徳六十時間四分一秒。
千葉選手は四十四分、宿屋で晩酌
をやりながら翌日の作戦を考へると
云ふスポーツの定規を無視してゐる
変り者である。

パレエト・ガール

笑 踊 行

最近パレエト・ガールとして一躍
名を挙げた宮本美代子嬢は、今
度は落下傘で水上に降りた場合
パレエト・ガールの自動的の降
袋となる國産パレエト・ガールの前
提として、快晴の日を期して東京

清上で四千メートルの上空から飛
び降り試験をすることにふつた。

◎ 広告不眠 不休の店員より

昭 和 館
館主 杉本春松
市内コリエントス街 二五二九
電話(クイ) 八七六三

清潔 安値 親切
かつ平店就職希望の方には
特に便宜を計ります

◎ 好評 嘖々
村岡玄先生著
◎ 西和辞典 拾一冊
◎ 西班牙語会話文典
三冊半

◎ 和西会話辞典 六冊
送料各廿五仙

そろばん 六ペソ

原 商店
市内ベルグライン街 一四七
電話(リバタ) 六六四一

御婦人服の仕立は

本 出 之

御婦人服、子供服、並に下着類は
専業のモデリストが廉價に且つ
迅速に仕立てます。又御婦人服
の仕立直しや染替へ半し致しま
すから何卒御用命の程願ひ上り
ます。
尚同胞御婦人、令嬢方には裁ち
方ミシン縫ひや手縫いで御教
授致します。御遠慮なく
御出で下さい。

市内マイス街 八六〇
電話(リライ) 〇三三〇
本出兄弟染色店裁縫部

日本食料品

鐘詰類
鮭(一三〇) 蟹(特大一六〇)
福神漬(大一〇〇、小一五〇)
海苔佃煮(六〇) 焼松茸(三〇)
菊(大三五、小一五)
乾物類
鮑(二十) 干し(一東廿五仙)
スルメ(拾廿枚三〇〇、一枚廿仙)
高野豆腐(一個五仙) 干し(一〇八〇)
其他(中持湯(三五) 仁丹(〇八〇)
櫻正宗(三五) 花札(一組四・五〇)
焼酎(三六) 薩摩粉(特大・八〇)
御注文品は速達致します
市内スアレス街 一三〇〇
電話(ハラカス) 〇八六九
中川商店

雜報

公使招待

兩領事送迎茶會
高岡領事夫人は去る廿三日出帆の...

高岡領事

高岡領事夫人は去る廿三日出帆の...

日会主催

日会主催の祝賀演奏会
日会は去る十八日役員会の決議に...

日会才三回役員会

日会才三回役員会は去る十八日午後...

買分組、地方は直接支部と設置し...

松井選手の送別会

日本野球團の一塁手として今年...

松尾好一氏惜別の宴

ブエノスアイレス丸にて帰國の松尾...

末廣亭の改称

松尾好一氏帰國と共に尾崎幸千...

高知果人今村鹿重氏(廿二)は昨...

今村鹿重氏死亡

高知果人今村鹿重氏(廿二)は昨...

高知果人今村鹿重氏(廿二)は昨...

御案内

陳者来る廿五日午後三時より...

各位

法前親 大高源吉 京田旭...

紫外線電気治療

リウマチス、皮膚病、神経痛...

杉本清次郎

雇はれたし フランチャイズ(洋服)として...



商船着発日取 サントス丸 六月十日入港...

TINTORERIA
"LA MODERNA"
DE K. MIYAMOTO

祝独立記念祭

「ラ・モデルナ」染色店

宮本好

RIVADAVIA 2670 - C.T. 47000 6044

TINTORERIA "NIPPON"
DE K. SAKAMOTO
LINCOLN F.C.O.

祝亞國獨立祭

リンコロン市「ニッポン」染色店

坂本倉太

CAFE "TOKIO"
POSADAS (MISIONES)

祝独立祭

五月廿五日

ホサーダ市

カフェ「東京」

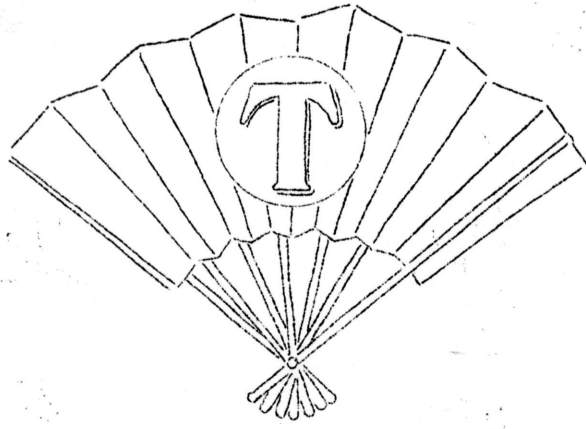
山口喜代志

全 範一

全 實之助

全 六郎

富
崎
商
店



祝
獨
立
祭

25 DE MAYO

1810

1931

José TOMISAKI & C^o.

ESCRITORIO: MAGALLANES 1250 U.T. 21 BARR. 26 28
CABLE ADDRESS: TOMISAKI

SUB-AGENCIA NIPPON YUSEN KABUSHIKI KAISHA.

PROVEEDORES MARITIMOS.

VENTA POR MAYOR ESTAMPILLA MARCA ABANICO

ALMACEN DE COMESTIBLES Y BEBIDAS.

U.T. 21 BARR. 1736 HERNANDARIAS 1544

BAZAR & JUGUETERIA: ALVARADO 1175

CARNICERIA N.º 1 ALVARADO 1177

CARNICERIA N.º 2 HERNANDARIAS 1538



社報時丁焚爾亞
人同

亞爾焚丁時報
US MAIL AT 981, BSAIRES
UT 25 B. ORDER POST
發行人 水野勉